



Aterm® WL11E

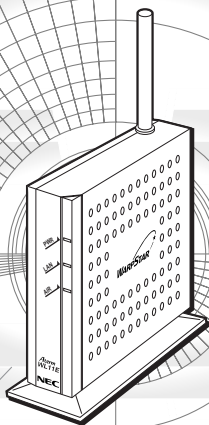


PA-WL/11E

ETHERNET ボックス

取扱説明書

このたびは、『Aterm WL11E』をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。



サテライト(子機)としてご使用になる場合には、WARPSTAR ベース(親機)の操作、設定が必要です。WARPSTAR ベース(親機)の取扱説明書をあわせてご覧ください。

はじめに

『^{エーターム}Aterm WL11E』は、^{ワーブスター}WARPSTAR ベース（親機）と組み合わせて WARPSTAR サテライト（子機）として使用したり、また有線 LAN に接続してワイヤレス LAN のアクセスポイントとして使用することができます。

サテライト（子機）としてご使用の場合、ご利用いただけるワイヤレス LAN 親機は次の通りです。（平成 14 年 8 月現在）

- ・ WDR85FH、WBR75H（WL11CA または WL11C を装着した状態）
WL11E（アクセスポイントモード）
- ・ WB45RL、WB55TL、WB65DSL、WB20R、WL20R、WL30A、
WB50T、WL50T（バージョンアップ必要）

アクセスポイント（親機）としてご使用の場合、ご利用いただけるワイヤレス LAN 子機は、次の通りです。（平成 14 年 8 月現在）

- ・ WL11C、WL11CA、WL11U、WL11E
- ・ アップルコンピュータ株式会社「Air Mac カード」など IEEE802.11b 準拠の各社ワイヤレス LAN 機器

最新のワイヤレス LAN 機器の動作確認情報はホームページ「Aterm Station」をご確認ください。

ワイヤレス機器の使用上の注意

本装置は、2.4GHz 帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- （1）本装置を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- （2）万一、本装置と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本装置の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- （3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm（エーターム）インフォメーションセンターにお問い合わせください。

本装置は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。



- 2.4 :2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
- DS :変調方式を示す
- 4 :想定される干渉距離が 40m 以下であること
:全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

Windows®, Windows® NT は米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2002

日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

電子マニュアルの見かた

電子マニュアルの見かた

「機能詳細ガイド」、「用語解説」、「お困りのときには」は、添付 CD-ROM（ユーティリティ集）の電子マニュアルをご覧ください。

1 パソコンを起動し、添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする

Windows® の場合は、自動的にメニュー画面が表示されます。

Macintosh の場合は、[MENU] アイコンをダブルクリックすると、メニュー画面が表示されます。

ユーティリティや電子マニュアルのメニューが表示されます。

2 読みたいファイルのボタンをクリックする



* 画面は Windows の例です。



お知らせ

「機能詳細ガイド」、「用語解説」、「お困りのときには」をご覧になるには、WWW ブラウザがインストールされている必要があります。




目次

電子マニュアルの見かた	2
目次	3
安全に正しくお使いいただくために	4
1 はじめにお読みください	1-1
1-1 WL11E ができること	1-2
1-2 セットを確認する	1-5
1-3 各部の名前とはたらき	1-6
1-4 あらかじめ確認してください	1-8
1-5 WL11E を設置する	1-11
2 サテライト(子機)モードで使う	2-1
2-1 設定を行う	2-2
2-2 通信する	2-27
3 アクセスポイント(親機)モードで使う	3-1
3-1 設定を行う	3-2
3-2 WL11U / WL11CA / WL11C をサテライトとして使用するには	3-19
4 お困りのときは	4-1
4-1 トラブルシューティング	4-2
4-2 WL11E を工場出荷状態にもどす	4-5
5 付録	5-1
5-1 WL11E 製品仕様	5-2
5-2 お問い合わせ・アフターサービス	5-3

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

警告

風呂、シャワー室への設置禁止
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

水のかかる場所への設置禁止
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

発煙した場合
万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに接続コード類や本体の接続を取り外してください。煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

水が装置内部に入った場合
万一、内部に水などがいった場合は、すぐに接続コード類や本体の接続を取り外して、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

警告

異物が装置内部に入った場合

本装置の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに接続コード類や本体の接続を取り外して、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

破損した場合

万一、落としたり破損した場合は、すぐに接続コード類や本体の接続を取り外して、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本装置は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。

分解・改造の禁止

本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ぬらすことの禁止

本装置に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。

ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で本装置を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

使用禁止区域での注意

航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本装置の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

ペースメーカを装着されている方の注意

植え込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本装置をペースメーカ装着部から 22cm 以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。

異物を入れないための注意

本装置の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

注 意

火気のそばへの設置禁止

本装置や接続コード類を熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

横置き・重ね置き禁止

本装置を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本装置の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。

乗ることの禁止

本装置に乗らないでください。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

雷のときの注意

雷が鳴りだしたら、接続コード類に触れたり周辺機器の接続をしったりしないでください。落雷による感電の原因となります。

取扱説明書に従って接続してください。

間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

STOP お願い

本装置を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
- ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

本装置をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は見通しで約100mです。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。

本装置とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したりデータ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っていません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本装置の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の纯粹経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



1

はじめにお読みください

1

WL11E を設置、接続する前に必ず確認しておきましょう。

- 1-1 WL11E でできること 1-2
- 1-2 セットを確認する 1-5
- 1-3 各部の名前とはたらき 1-6
- 1-4 あらかじめ確認してください 1-8
- 1-5 WL11E を設置する 1-11

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP operating system の略です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

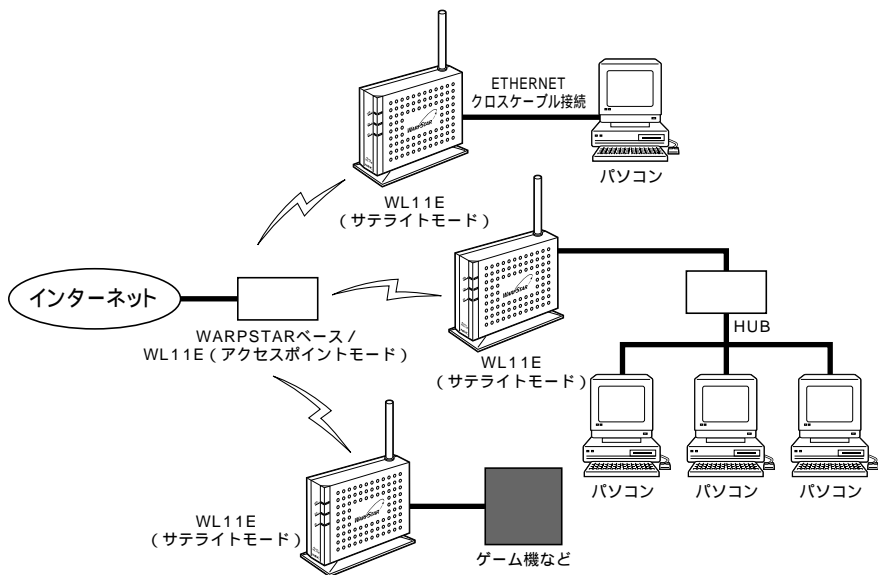
1-1 WL11E でできること

WL11Eではサテライト（子機）モード、アクセスポイント（親機）モードの2つのモードをご利用になれます。

それぞれ次のような構成でご利用になることができます。

サテライト（子機）モード

WARPSTAR ベースおよびWL11E（アクセスポイントモード）のワイヤレス子機としてご利用になることができます。



1つのWARPSTARベースにサテライトとして増設できるWL11Eは6台までです。サテライトモードでご利用いただくには、別途WDS（Wireless Distribution System）対応のWARPSTARベース（親機）またはWL11E（アクセスポイントモード）が必要です。

- ・平成14年8月現在WDS対応のWARPSTARベースはWDR85FH、WBR75Hです。また、WB45RL、WB55TL、WB20R、WL20R、WL30A、WB50T、WL50Tは、Aterm Stationの「バージョンアップ」コーナーにある最新ファームウェアにバージョンアップすればご利用になることができます。
- ・最新の情報については、ホームページ「Aterm Station」でご確認ください。

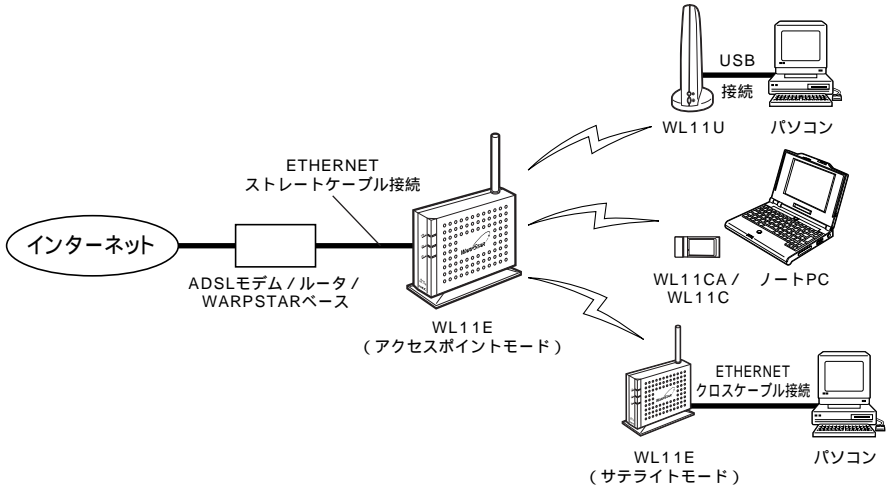


お知らせ

WL11Eを設定する時は、Windows® OS搭載パソコンが必要です。しかし、サテライトモード（子機）ご利用の時は、いったん設定した後はTCP/IP通信のできる機器であればゲーム機なども接続できます。

アクセスポイント（親機）モード

WARPSTAR サテライト（WL11E / WL11U / WL11CA / WL11C）のワイヤレス親機としてご利用になることができます。



別売のWARPSTARのサテライト（子機）を増設することができます。

WARPSTARサテライトは、10台以下でのご使用をお勧めします。

WL11Eは、既存のルータ、WARPSTARベースにETHERNET接続することができます。

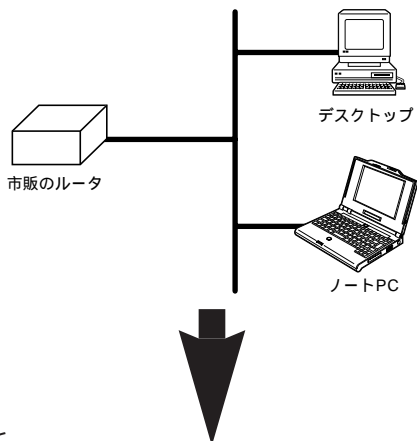
1

はじめにお読みください

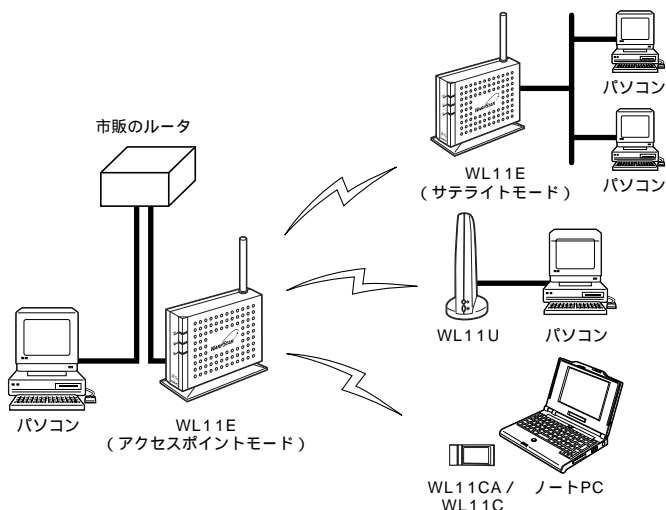
WL11E を利用したワイヤレス LAN ネットワーク

WL11E のアクセスポイントモードとサテライトモードを利用して次のような構成でワイヤレス LAN を利用することができます。

従来



WL11E を利用すると

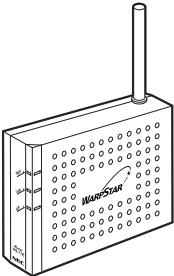
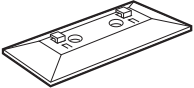



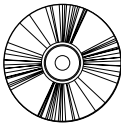
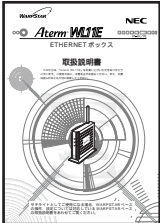


WL11CA / WL11U をサテライト (子機) として使用する場合は、「3-2 WL11U / WL11CA / WL11C をサテライトとして使用するには」とあわせて、添付 CD-ROM に収録されている WARPSTAR ベースの取扱説明書 (PDF ファイル) を、参照してください。

1-2 セットを確認する

設置を始める前に、添付品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

構成品

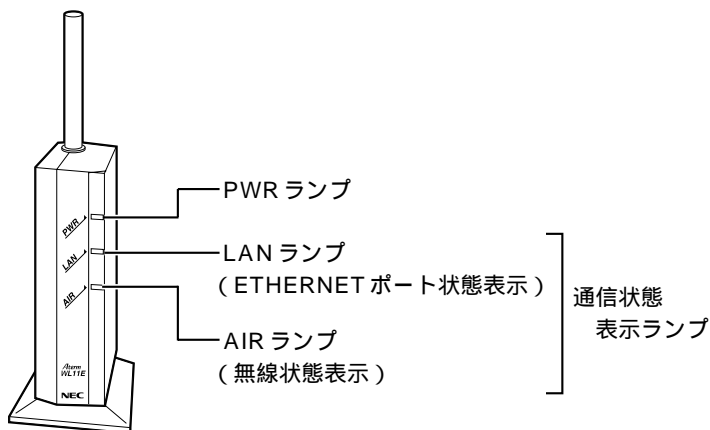
<p>WL11E 本体</p> 	<p>スタンド</p> 	
<p>AC アダプタ</p> 	<p>ETHERNET ケーブル(ストレート 灰色)</p> 	<p>ETHERNET クロスケーブル(黒色)</p> 
<p>CD-ROM (ユーティリティ集)</p> 	<p>取扱説明書(本書)</p> 	<p>設定ガイド 保証書 無線注意シール</p>

1

はじめにお読みください

1-3 各部の名前とはたらき

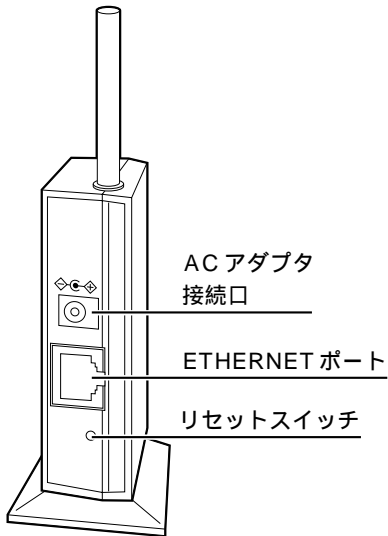
前面図



【ランプ表示】

ランプの種類		点灯状態	状態
PWR (電源)		緑(点灯)	電源が入っているとき
		消灯	電源が入っていないとき
LAN (ETHERNET ポート状態表示)		緑(点灯)	ETHERNETポートのリンクが確立しているとき
		緑(点滅)	ETHERNETポートでデータ送受信中
		消灯	ETHERNETポートのリンクが確立していないとき
AIR (無線状態表示)	サテライトモードのとき	緑(点灯)	アクセスポイント(親機)との無線状態が良好のとき
		緑(速点滅)	アクセスポイント(親機)との無線状態が普通のとき
		緑(遅点滅)	アクセスポイント(親機)との無線状態が悪いとき
		消灯	アクセスポイント(親機)とのリンクが確立していないとき
	アクセスポイントモードのとき	緑(点滅)	WARPSTARサテライト(子機)とのデータを送受信しているとき

背面図

**ACアダプタ接続口**

添付のACアダプタを接続します。

ETHERNETポート

(10BASE-T)

パソコンまたはルータ、ブロードバンド
モデム、WARPSTARベースと接続しま
す。

リセットスイッチ

設定値を工場出荷時にもどすときに使用
します。

1

はじめにお読みください

1-4 あらかじめ確認してください

パソコンの準備

WL11Eを設定するのに必要な「ETHERNET ボックスマネージャ」は、以下のOSでご利用になれます。

- ・ Windows® Me 日本語版
- ・ Windows® 98 日本語版
- ・ Windows® 98SE 日本語版
- ・ Windows® XP 日本語版
- ・ Windows® 2000 Professional 日本語版

いったんWL11Eを設定した後は、OSを限定しないで通信がご利用になれます。

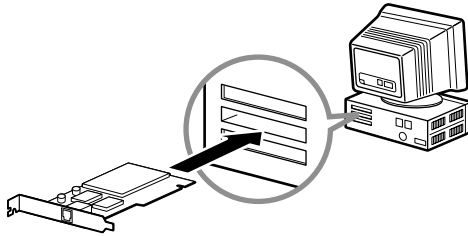
設定用のパソコンをETHERNET 対応にする

ETHERNET ボックスマネージャで設定を行うには、パソコンにLANポートの準備が必要です。お使いのパソコンにLANポートがない場合は、WL11Eの設置を始める前に、LANボードまたはLANカードを取り付けて、増設してください。

取り付け後は、LANボード/カードの取扱説明書に従って正しく動作することを確認してください。正しく動作していない場合は、先にLANボード/LANカードの問題を解決してからWL11Eの設置を行ってください。

デスクトップ型やタワー型のパソコンの場合

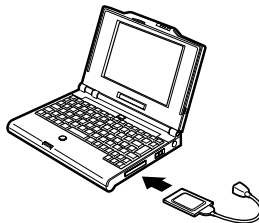
デスクトップ型やタワー型のパソコンの場合は、拡張スロットにLANボードを取り付けます。スロットにはPCIやISAなどの種類があるので、お使いのパソコンで空いているスロットの種類を確認してから対応したLANボードを取り付けてください。



ノート型パソコンの場合

ノート型パソコンの場合は、PCカードスロットにLANカードを取り付けます。(内蔵されている場合もあります。)

PCカードスロットの規格や添付ソフトには種類があるので、お使いのパソコンに対応したLANカードをご利用ください。



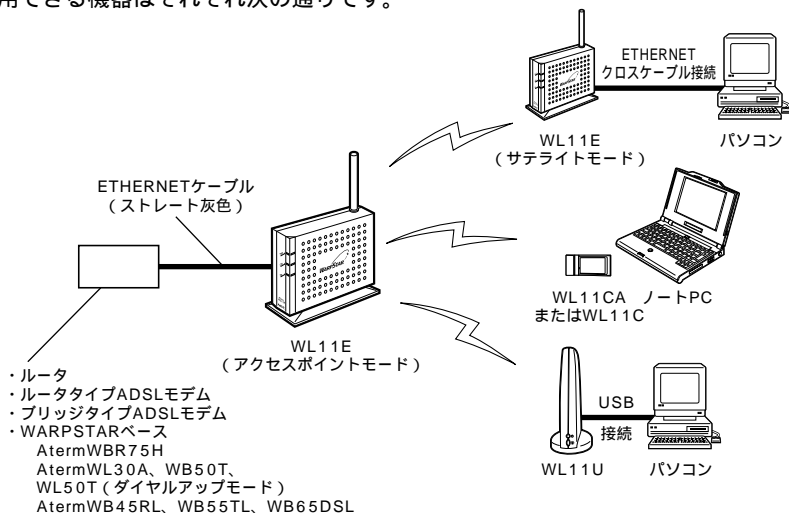
1

はじめにお読みください

接続する機器の確認

接続する機器の設定が完了していることを確認してください。
設定に関しては、それぞれに添付の取扱説明書を参照してください。

アクセスポイントモードでETHERNETポートに接続できる機器、ワイヤレス子機として利用できる機器はそれぞれ次の通りです。

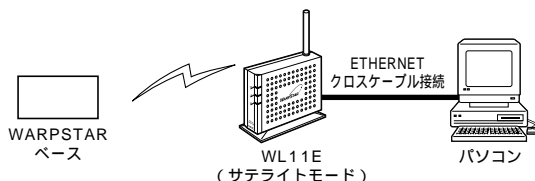


WARPSTAR ベースに WL11CA / WL11C を装着しなくても WL11E (アクセスポイントモード) を接続すればワイヤレス LAN をご利用になることができます。

サテライトモードで利用できる WARPSTAR ベースは次のとおりです。

WDR85FH、WBR75H (平成 14 年 8 月現在)

WDR85FH、WBR75H 以外は装置のバージョンアップが必要です。

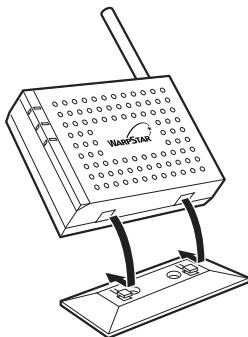


最新のワイヤレス LAN 機器の動作確認情報はホームページ「Aterm Station」をご確認ください。

1-5 WL11E を設置する

縦置きスタンドを取り付ける

図のように縦置きスタンドを取り付けます。
設置の際は無線状態を最適にするためアンテナが垂直になるように設置してください。



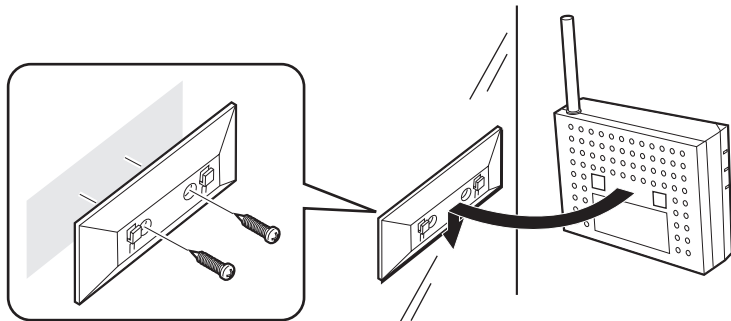
1

はじめにお読みください



お知らせ

図のように壁に取り付けることもできます。



壁にとりつける際のネジは添付されておりません。 3mmのネジをお買い求めの上取り付けてください。



2

サテライト(子機)モードで使う



2

2-1	設定を行う	2-2
2-2	通信する	2-27

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

2-1 設定を行う

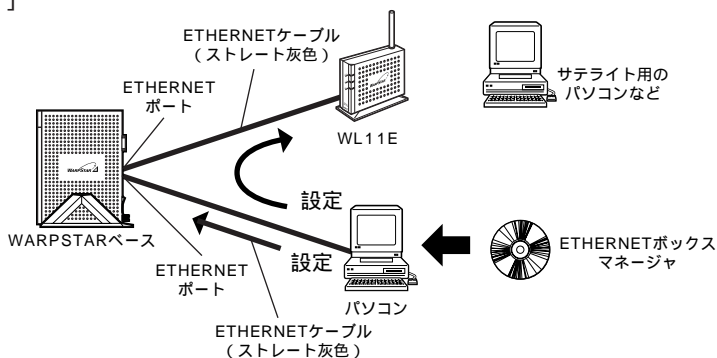
WL11Eをサテライトモードで使用する場合の設定方法には次の2種類があります。ご使用状態に合わせて設定方法を選択してください。

WARPSTARベース（親機）とWL11E（サテライトモード）を同時に設定する場合の接続方法

親機がETHERNETポートを2つ以上装着したWARPSTARベースの場合はこの方法で設定します。設定が完了してからWL11Eとサテライト用パソコンなどを接続します。

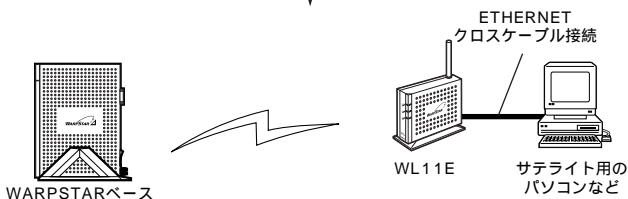
同時に設定できるのはWARPSTARベースと1台目のWL11E（サテライトモード）のみです。

[設定時]



設定完了後、下記のように接続します

[ご利用時]



次の手順で設定を行います。実際の作業はそれぞれのページで行ってください。

設定をするための接続を行う（☞P2-4）

ETHERNETボックスマネージャをインストールする（☞P2-6）

ETHERNETボックスマネージャで設定を行う（☞P2-8）

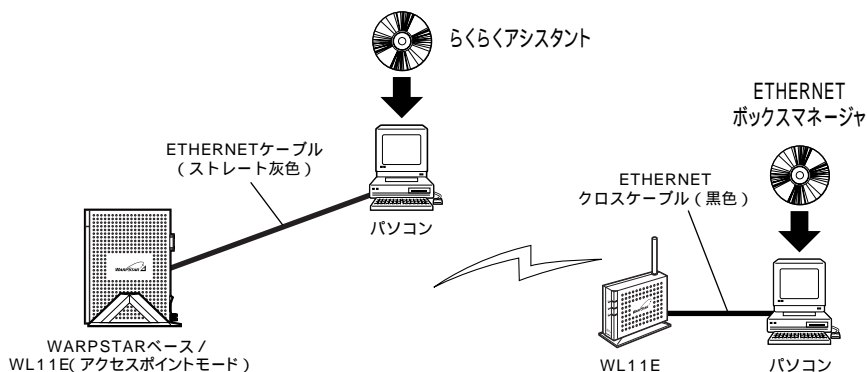
WARPSTARベースとWL11E（サテライトモード）のMACアドレス登録は自動で行います。

サテライトで通信するパソコンなどと接続する（☞P2-12）

WARPSTAR ベース（親機）や WL11E（アクセスポイントモード）と WL11E（サテライトモード）を別々に設定する場合の接続方法

親機が WL11E（アクセスポイントモード）の場合や、WARPSTAR ベースに ETHERNET ポートが 1 つしかない場合、WL11E（サテライトモード）を 2 台目以降増設する場合はこの方法で設定します。

ETHERNET ボックスマネージャをインストールするパソコンに固定 IP アドレスを設定する必要があります。（☞P2-17）



WARPSTAR ベースの設定にはそれぞれに添付のユーティリティ「らくらくアシスタント」が必要です。

親機となるベースとして利用できる機器については P1-2 を参照してください。

1 台のパソコンを使って順番に設定することもできます。

次の手順で設定を行います。実際の作業はそれぞれのページで行ってください。

WARPSTAR ベースを設定する（☞P2-14）

WL11E（アクセスポイントモード）の場合は、本書「3 アクセスポイント（親機）モードで使う」を参照して設定を行ってください。

設定をするための接続を行う（☞P2-15）

パソコンの IP アドレスを設定する（☞P2-17）

ETHERNET ボックスマネージャをインストールする（☞P2-19）

ETHERNET ボックスマネージャで設定を行う（☞P2-21）

WL11E（サテライトモード）への MAC アドレスの登録を手動で行います。

WARPSTAR ベースとWL11E(サテライトモード)を同時に設定する場合

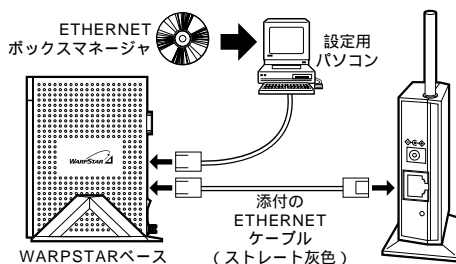
お願い

あらかじめ WARPSTAR ベースの設定は済ませておいてください。また無線カード (WL11CA) は取り付けておいてください。

WARPSTAR ベースとWL11E を同時に設定する場合は次のように接続します。

設定をするための接続をする

- 1 アクセスポイントとなる WARPSTAR ベースとパソコンが正しく接続されていることを確認する
- 2 WL11E とアクセスポイントとなる WARPSTAR ベースの ETHERNET ポートを添付の ETHERNET ケーブル (ストレート灰色) で接続する

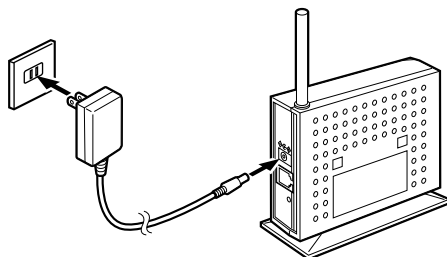


お知らせ

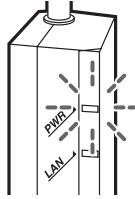
ETHERNET ケーブルには、ストレートとクロスがあります。

WL11E に添付のケーブルは、灰色がストレート、黒色がクロスのケーブルです。

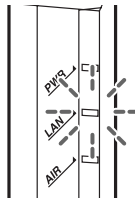
- 3 AC アダプタを WL11E に取り付ける
- 4 AC アダプタを電源コンセントに接続する



5 PWR ランプが緑点灯することを確認する



6 WL11E のETHERNET ポートと WARPSTAR ベースが正しく接続されていると、WL11E の前面の LAN ランプが緑点灯する

**2**

サテライト(子機)モードで使う

ETHERNET ボックスマネージャをインストールする

WL11Eの設定に必要なユーティリティ「ETHERNET ボックスマネージャ」を設定を行うパソコンにインストールします

1 Windows® を起動する

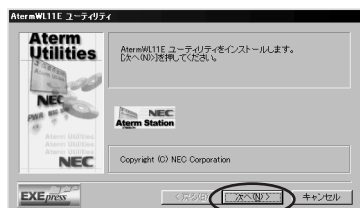
2 添付のCD-ROM (ユーティリティ集) をCD-ROM ドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。メニューが表示されないときは(☞P2-7)

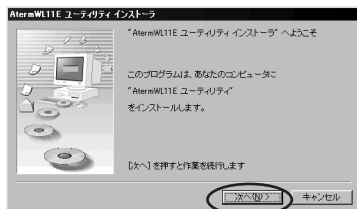
3 [ETHERNET ボックスユーティリティのインストール]をクリックする



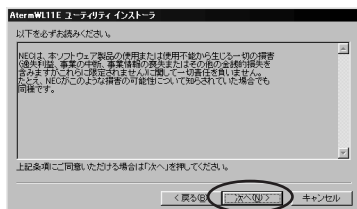
4 [次へ]をクリックする



5 [次へ]をクリックする

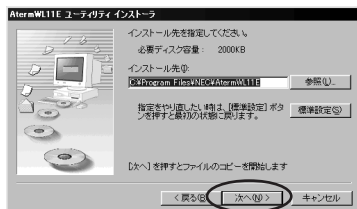


6 画面の同意書を読み、同意できる場合は[次へ]をクリックする

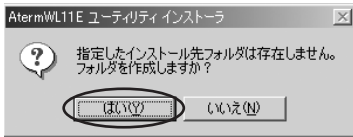


7 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ]をクリックする

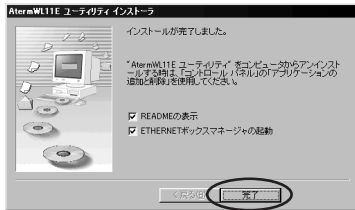
インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックして変更してください。



- 8 この画面の表示がでたら[はい]をクリックする



- 9 [完了]をクリックする



- 10 READMEをよく読んで、[README]画面を閉じる
インストールが完了し、ETHERNETボックスマネージャが起動します。
- 11 続けてETHERNETボックスマネージャで設定を行う

? ETHERNET ボックスマネージャを起動するには

ETHERNET ボックスマネージャを終了させた後に、再度ETHERNET ボックスマネージャを起動するときは、[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム]—[Aterm WL11E ユーティリティ]—[ETHERNET ボックスマネージャ]をクリックします。

お知らせ

添付のCD-ROM をセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。

Windows®の[スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]を選択する

名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と¥Menu.exe と入力し、[OK] をクリックする
(例：CD-ROM ドライブ名がQの場合、Q:¥Menu.exe)

ETHERNET ボックスマネージャで設定を行う

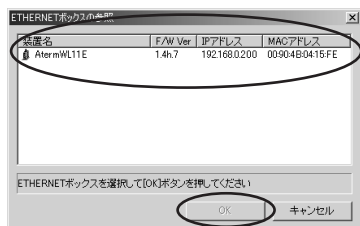
お願い

設定は、WL11Eの電源を入れてから30秒以上たってから行ってください。

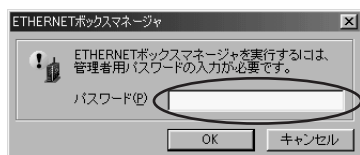
1 ETHERNET ボックスマネージャを起動する

ETHERNET ボックスマネージャをインストールしたとき以外は[スタート] [プログラム] [Aterm WL11E ユーティリティ] [ETHERNET ボックスマネージャ]の順に選択します。

2 設定するETHERNET ボックスを選択し、[OK]をクリックする

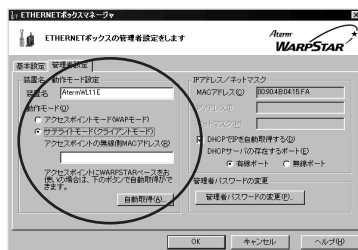


3 管理者パスワードを入力する (初期値は「public」です。最初はpublicと入力します。管理者パスワードは、後で変更してください 手順7)



4 [管理者設定] タブをクリックする

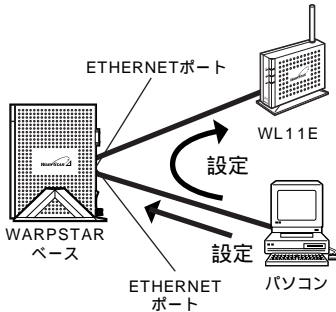
5 [動作モード設定] 欄で [サテライトモード (クライアントモード)] を選択する



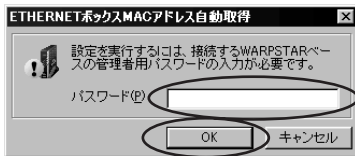
6 アクセスポイント側無線カードのMACアドレスを登録する

アクセスポイント側無線カードのMACアドレスは次のように接続して設定を行っている場合、自動取得できます。

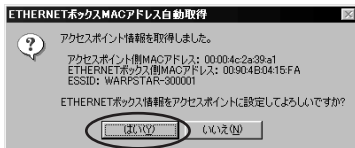
この際、WARPSTAR ベースにもWL11EのMACアドレスが登録されます。



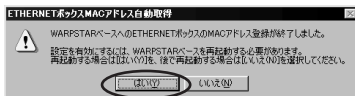
[自動取得]をクリックする
管理者用パスワード欄に
WARPSTAR ベースの管理者パス
ワードを入力し、[OK]をクリック
する



[はい]をクリックする



[はい]をクリックする



お知らせ

WARPSTAR ベースに自動登録できるMACアドレスは、1台目のWL11Eだけです。2台目以降は手動で入力してください。

2台目以降のWL11Eで自動登録を行った場合は、MACアドレスが上書きされてしまいます。

MACアドレスの登録をしたあと、WARPSTAR ベースに装着した無線カードを交換した場合は、MACアドレスの登録を再度行う必要があります。

WL11CAを抜き差しする際はWARPSTARベースの電源を切ってください。

7 [管理者パスワードの変更]をクリックする

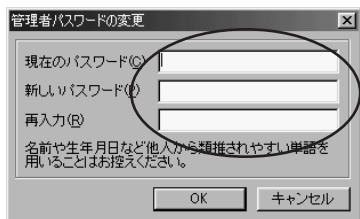
2

サテライト(子機)モードで使う

(次ページに続く)

8

「現在のパスワード」欄に「public」と入力し、新しいパスワードを設定する



9

[OK] をクリックする

- ・管理者パスワードの変更の設定はETHERNETボックスマネージャを[OK]で終了させると有効になります。



お知らせ

管理者用パスワードは、WL11Eを設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード _____

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。忘れた場合は、リセットスイッチでWL11Eを工場出荷状態に戻して管理者パスワードを初期値(public)に戻してください。

10

[IPアドレス/ネットマスク] 欄でIPアドレスを設定する

- ・WL11Eをサテライトモードで使用する場合は、ご使用のネットワーク体系にあわせてIPアドレス/ネットマスクを入力してください。

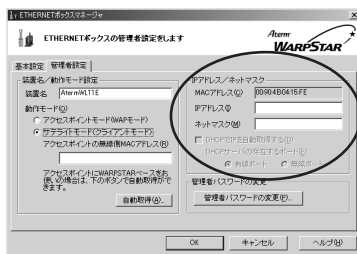
例)初期値は次の通りです

IPアドレス：192.168.0.200
ネットマスク：255.255.255.0

2台以上お使いの場合は、IPアドレスの値が重ならないようにしてください。

例)2台目

IPアドレス：192.168.0.201
ネットマスク：255.255.255.0



11

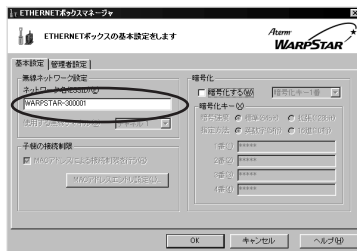
[基本設定] タブをクリックする

12

[ネットワーク名]を確認する

ネットワーク名は、手順6でMACアドレスを自動で設定した場合には既に登録されていますので変更の必要はありません。

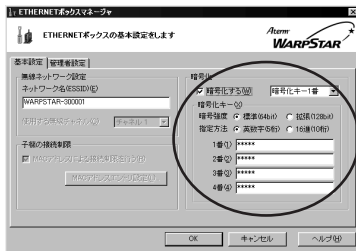
- ・手動で入力する場合は、無線ネットワーク内で使用するネットワーク名を入力してください。親機にも同様のネットワーク名を登録しておく必要があります。WARPSTARベースをアクセスポイントとして使う場合、ネットワーク名の初期値はWARPSTAR-xxxxxxx (xxxxxxxは接続するWARPSTARベースのMACアドレス下6桁)です。



13 暗号化の設定を行う

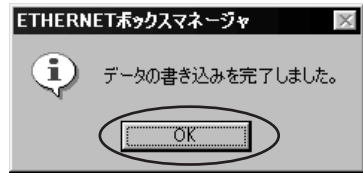
- ・ WARPSTAR ベースに暗号化の設定をしているときは、[暗号化する] にチェックして、[暗号化] 欄で設定を行ってください。
- ・ WARPSTAR ベースに設定を行っていないときはチェックをはずしてください。

暗号化の詳細については(P2-28)

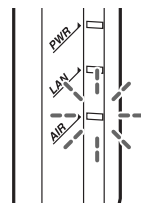


14 「OK」をクリックする

15 データの書き込みが完了したことを確認して「OK」をクリックする



16 WL11E の前面の AIR ランプが緑点灯することを確認する



AIR ランプが緑点滅をしている場合は無線の電波状態が普通または悪いときです。WARPSTAR ベースと WL11E の位置を近づけたり移動してみてください。

? 「ETHERNET ボックスが見つかりません」と表示されたときには

「ETHERNET ボックスが見つかりません」という画面が表示されたときには、WL11E が正しく接続されていることを確認してから、次の手順で、ETHERNET ボックスを参照してください。

- 「ETHERNET ボックスの参照」をクリックする
- アクセスポイント名を選択して、「OK」をクリックする
- 「OK」をクリックする

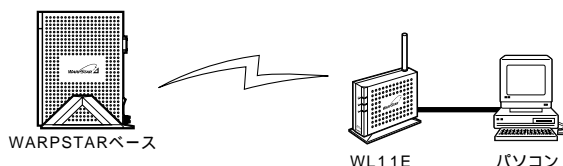
それでも見つからない場合は、トラブルシューティングを参照してください。(P4-4)

2

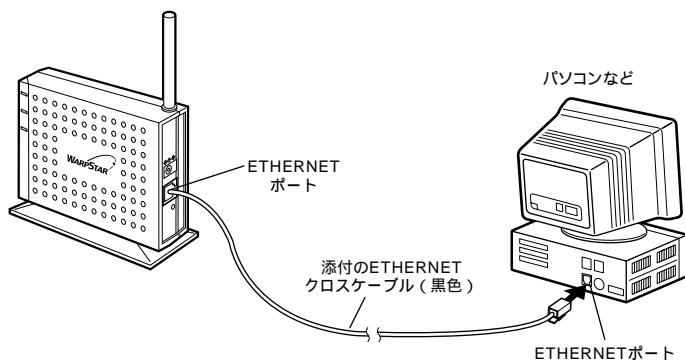
サテライト(子機)モードで使う

サテライトで通信するパソコンなどと接続する

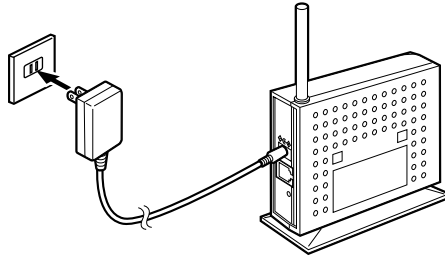
設定のため WARPSTAR ベースと接続していた WL11E を取りはずして、サテライトモードで使用するパソコンやゲーム機などに接続します。



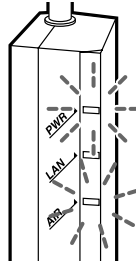
- 1 WL11E の AC アダプタを電源コンセントから抜く
- 2 WL11E と WARPSTAR ベースを接続しているケーブルをはずす
- 3 WARPSTAR ベースの電源が入っていることを確認する
- 4 WL11E とパソコンやゲーム機などの ETHERNET ポートを添付の ETHERNET クロスケーブル (黒色) で接続する



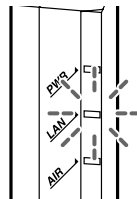
5 WL11EのACアダプタを電源コンセントに接続する



6 WL11EのPWRランプが緑点灯することを確認する しばらくして、WARPSTARベースと無線接続されているとAIRランプが緑点灯または緑点滅する



7 パソコンやゲーム機などWL11Eに接続した機器の電源を入れる WL11EのETHERNETポートとパソコンが正しく接続されていると、WL11Eの前面のLANランプが緑点灯する



2

サテライト(子機)モードで使う



お知らせ

WARPSTAR ベースの電源は、あらかじめ入れておいてください。

WARPSTAR ベース（親機）や WL11E（アクセスポイントモード）と WL11E（サテライトモード）を別々に設定する場合

WARPSTAR ベースや WL11E(アクセスポイントモード)を設定する

アクセスポイント（親機）となる WARPSTAR ベースや WL11E（アクセスポイントモード）に WL11E（サテライトモード）を登録します。

WARPSTAR ベースを設定できるパソコンから設定を行ってください。

（その他の WARPSTAR ベースの設定については WARPSTAR ベースの取扱説明書を参照してください。）

親機が WL11E（アクセスポイントモード）のときはこの設定は必要ありません。本書「3.アクセスポイント（親機）モードで使う」を参照して、アクセスポイントモードの設定をしてください。

1 WARPSTAR ベースのらくらくアシスタントを起動する

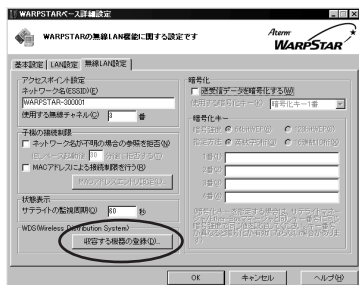
2 「WARPSTAR の設定」をクリックし、「WARPSTAR ベースの詳細設定」をクリックする

3 管理者パスワードを入力して、「OK」をクリックする

4 「無線 LAN 設定」タブをクリックする

5 「収容する機器の登録」をクリックする

6 「収容する MAC アドレス」欄からエントリを選び、「編集」をクリックする



- 7 「MAC アドレス」欄にサテライトとして使用する WL11E の記載されている MAC アドレスを入力する
MAC アドレスは英数字を 2 桁ずつ区切って間に：（コロン）を入れてください。



- 8 「OK」をクリックする
- 9 追加した MAC アドレスをクリックして にする
- 10 「OK」をクリックする
WARPSTAR ベース詳細設定に戻ります。
- 11 「OK」をクリックする
WARPSTAR ベース詳細設定が終了し、WARPSTAR ベースが再起動します。

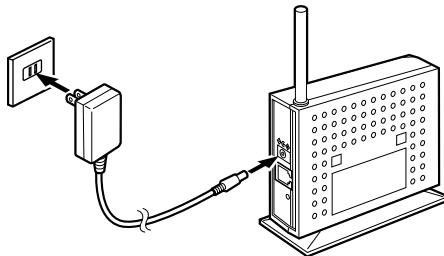
WL11E を設定するための接続を行う

- 1 WL11E とパソコンの ETHERNET ポートを添付の ETHERNET クロスケーブル（黒色）で接続する



- 2 AC アダプタを WL11E に取り付ける

- 3 AC アダプタを電源コンセントに接続する

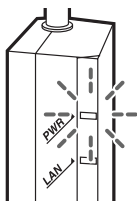


（次ページに続く）

2

サテライト(子機)モードで使う

4 PWR ランプが緑点灯することを確認する



5 WL11E の ETHERNET ポートとパソコンが正しく接続されていると、WL11E の前面の LAN ランプが緑点灯する



パソコンのIPアドレスを設定する

サテライトモードで使用するWL11Eに接続したパソコンから設定を行うには、パソコンのIPアドレスの設定が必要です。

あらかじめパソコンとWL11Eが正しく接続されていることを確認してください。
(☞P2-16)



お知らせ

WL11Eの設定が終了した後は、パソコンのIPアドレスの設定を戻します。

Windows® Me/98/98SEの場合

[スタート] [設定] [コントロールパネル]を選択する。

ネットワークのアイコンをダブルクリックする。

リストの中のTCP/IPプロトコルのうちWL11Eが使用しているネットワークボード名を選択し、[プロパティ]をクリックする。



[IPアドレス]タブをクリックする。

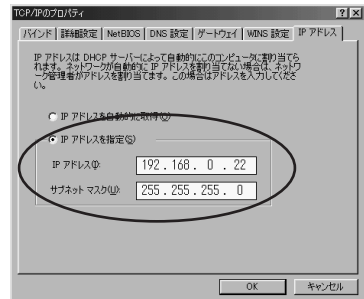
[IPアドレスを指定]をクリックして、IPアドレス、サブネットマスクに次のように入力する。

IPアドレス:

192.168.0.XXX (XXXは2～199、201～254の数字で同一ネットワーク内で使用しないIPアドレス)

サブネットマスク:

255.255.255.0



[ゲートウェイ]タブをクリックし、インターネット接続時に経由するWARPSTARベースのIPアドレスを追加します。
(初期値は192.168.0.1です)

[OK]をクリックして、画面の指示に従ってWindows®を再起動する。

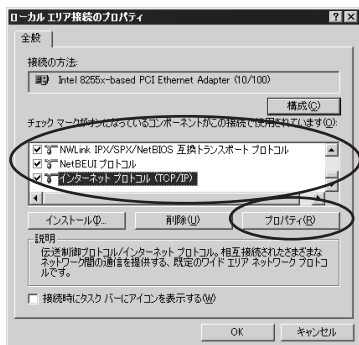
Windows® XP/2000 の場合

画面は Windows® 2000 の例です

[マイコンピュータ] [コントロールパネル] [ネットワークとダイヤルアップの接続] をクリックする。

WL11E を使用しているネットワークボード名の [ローカルエリア接続] を右クリックして、[プロパティ] をクリックする。

リストの中から [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、プロパティボタンを押す。



[次の IP アドレスを使う] をクリックして、IP アドレス、サブネットマスクに次のように入力する。

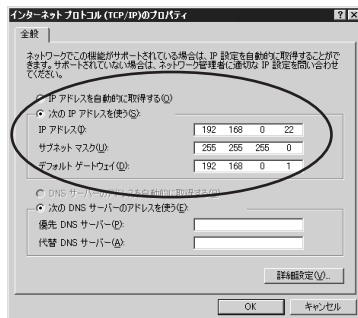
IP アドレス :

192.168.0.XXX (XXX は 2 ~ 199、201 ~ 254 の数字で同一ネットワーク内で使用していない IP アドレス)

サブネットマスク :

255.255.255.0

デフォルトゲートウェイには、インターネット接続時に経由する WARPSTAR ベースの IP アドレスを入力してください。(初期値は 192.168.0.1 です)



[OK] をクリックする。

ETHERNET ボックスマネージャをインストールする

WL11Eの設定に必要なユーティリティ「ETHERNET ボックスマネージャ」をパソコンにインストールします

1 Windows® を起動する

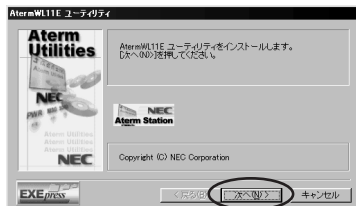
2 添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。メニューが表示されないときは (P.20)

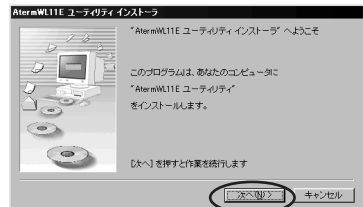
3 [ETHERNET ボックスユーティリティのインストール] をクリックする



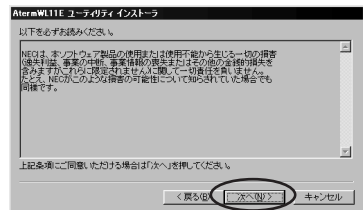
4 [次へ] をクリックする



5 [次へ] をクリックする

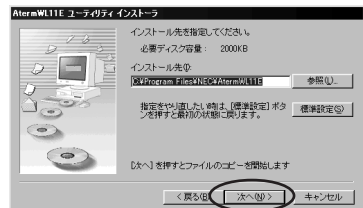


6 画面の同意書を読み、同意できる場合は [次へ] をクリックする



7 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ] をクリックする

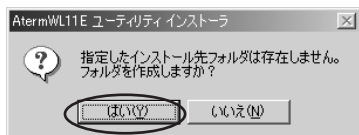
インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックして変更してください。



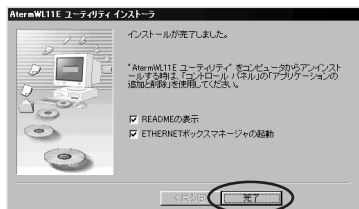
2

サテライト(子機)モードで使う

- 8 この画面の表示がでたら[はい]をクリックする



- 9 [完了]をクリックする



- 10 READMEをよく読んで、[README]画面を閉じる
インストールが完了し、ETHERNET
ボックスマネージャが起動します。

- 11 続けてETHERNETボックス
マネージャで設定を行う

? ETHERNET ボックスマネージャを起動するには

ETHERNET ボックスマネージャを終了させた後に、再度 ETHERNET ボックスマネージャを起動するときは、[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム]—[Aterm WL11E ユーティリティ]—[ETHERNET ボックスマネージャ]をクリックします。

お知らせ

添付の CD-ROM をセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。

Windows®の[スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]を選択する

名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥Menu.exe と入力し、[OK] をクリックする
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q:¥Menu.exe)

ETHERNET ボックスマネージャで設定を行う

お願い

設定は、WL11E の電源を入れてから 30 秒以上たってから行ってください。

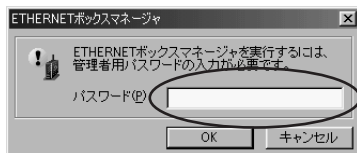
1 ETHERNET ボックスマネージャを起動する

ETHERNET ボックスマネージャをインストールしたとき以外は [スタート] [プログラム] [Aterm WL11E ユーティリティ] [ETHERNET ボックスマネージャ] の順に選択します。

2 設定する ETHERNET ボックスを選択し、[OK] をクリックする

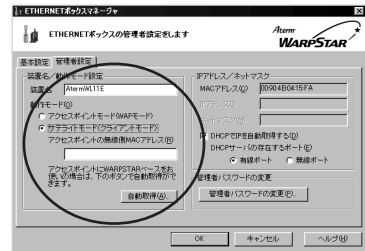


3 管理者パスワードを入力する (初期値は「public」です。最初は public と入力します。管理者パスワードは、後で変更してください 手順 7)



4 [管理者設定] タブをクリックする

5 [動作モード設定] 欄で [サテライトモード (クライアントモード)] を選択する



2

サテライト(子機)モードで使う

(次ページに続く)

6 アクセスポイント側無線カードの MAC アドレスを登録する
[管理者設定] タグの [アクセスポイントの無線側 MAC アドレス] に次の MAC アドレスを入力します。

- ・ WARPSTAR ベースに装着している無線カード (WL11CA) の背面に記載している MAC アドレス
- ・ WL11E (アクセスポイントモード) のラベルに記載してある MAC アドレス



お知らせ

WL11E をアクセスポイントとして利用する場合はアクセスポイント側の WL11E にサテライト側の WL11E の MAC アドレスを登録する必要がありません。

WL11CA を抜き差しする際は WARPSTAR ベースの電源を切ってください。

7 [管理者パスワードの変更] をクリックする

8

「現在のパスワード」欄に「public」と入力し、新しいパスワードを設定する

9

[OK] をクリックする

- ・ 管理者パスワードの変更の設定は ETHERNET ボックスマネージャを [OK] で終了させると有効になります。



お知らせ

管理者用パスワードは、WL11E を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード _____

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。忘れた場合は、リセットスイッチで WL11E を工場出荷状態に戻して管理者パスワードを初期値 (public) に戻してください。

10 [IPアドレス/ネットマスク] 欄でIPアドレスを設定する

- ・WL11Eをサテライトモードで使用する場合は、ご使用のネットワーク体系にあわせたIPアドレス/ネットマスクを入力してください。

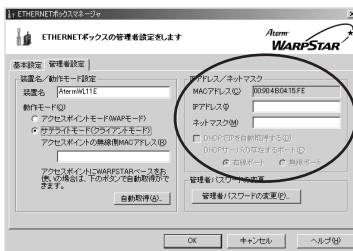
例)初期値は次の通りです

IPアドレス：192.168.0.200
ネットマスク：255.255.255.0

2台以上お使いの場合は、IPアドレスの値が重ならないようにしてください。

例)2台目

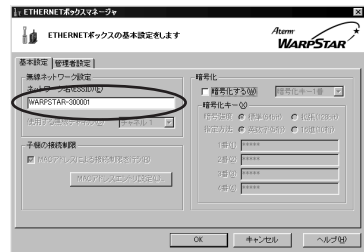
IPアドレス：192.168.0.201
ネットマスク：255.255.255.0



11 [基本設定] タブをクリックする

12 [ネットワーク名]を確認する

- ・無線ネットワーク内で使用するネットワーク名を入力してください。親機にも同様のネットワーク名を登録しておく必要があります。WARPSTARベースをアクセスポイントとして使う場合、ネットワーク名の初期値はWARPSTAR-xxxxxx (xxxxxxは接続するWARPSTARベースのMACアドレス下6桁)です。



2

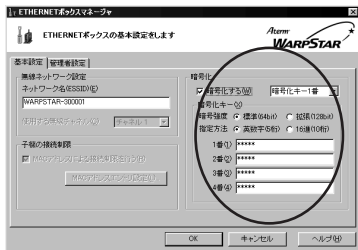
サテライト(子機)モードで使う

(次ページに続く)

13 暗号化の設定を行う

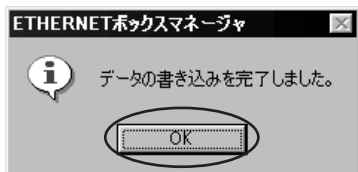
- ・ WARPSTAR ベースに暗号化の設定をしているときは、[暗号化する] にチェックして、[暗号化] 欄で設定を行ってください。
- ・ WARPSTAR ベースに設定を行っていないときはチェックをはずしてください。

暗号化の詳細については(☞P2-28)

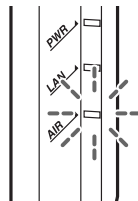


14 「OK」をクリックする

15 データの書き込みが完了したことを確認して「OK」をクリックする



16 WL11Eの前面のAIRランプが緑点灯することを確認する



AIRランプが緑点滅しているときは、無線の電波状態が普通または悪いときです。WARPSTARベースとWL11Eの位置を近づけたり移動してみてください。

17 パソコンのIPアドレスの設定を戻す

- ・ ETHERNET ボックスマネージャでの設定が完了したらP2-17で設定したパソコンのIPアドレスの設定を元に戻します。(「IPアドレスを自動的に取得」を選択します。)
- ・ DHCP を使用しない場合には、使用するネットワーク体系に合わせたIPアドレス/ネットワーク/ゲートウェイDNSの設定を行ってください。
- ・ Windows® Me/98/98SEではパソコンの再起動が必要です。

? 「ETHERNETボックスが見つかりません」と表示されたときには

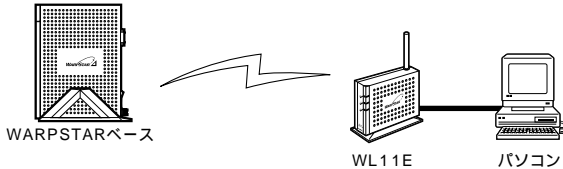
「ETHERNETボックスが見つかりません」という画面が表示されたときには、WL11Eが正しく接続されていることを確認してから、次の手順で、ETHERNETボックスを参照してください。

- 「ETHERNETボックスの参照」をクリックする
- アクセスポイント名を選択して、「OK」をクリックする
- 「OK」をクリックする

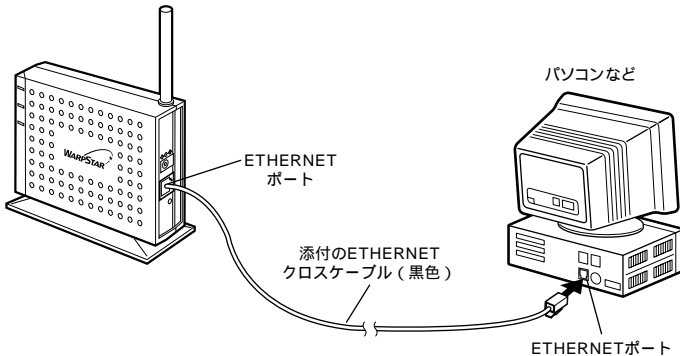
それでも見つからない場合は、トラブルシューティングを参照してください。(☞P4-4)

サテライトで通信するパソコンなどと接続する

サテライトモードで使用するパソコンまたはゲーム機などに接続します。設定で使用したパソコンをそのまま接続する場合は、次ページでランプの確認をしてください。



- 1 WL11EのACアダプタを電源コンセントから抜く
- 2 WARPSTARベースの電源が入っていることを確認する
- 3 WL11Eとパソコンやゲーム機などの機器のETHERNETポートを添付のETHERNETクロスケーブル(黒色)で接続する

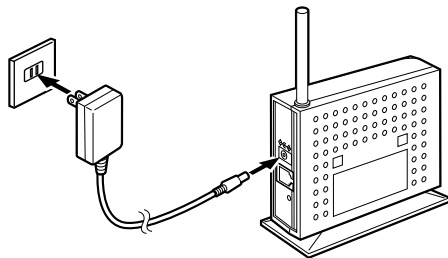


2

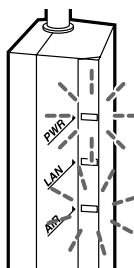
サテライト(子機)モードで使う

(次ページに続く)

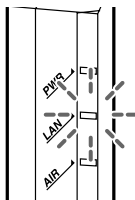
4 WL11EのACアダプタを電源コンセントに接続する



5 WL11EのPWRランプが緑点灯することを確認する しばらくして、WARPSTARベースと無線接続されているとAIRランプが緑点灯または緑点滅する



6 パソコンやゲーム機などWL11Eに接続した機器の電源を入れる WL11EのETHERNETポートとパソコンが正しく接続されていると、 WL11Eの前面のLANランプが緑点灯する



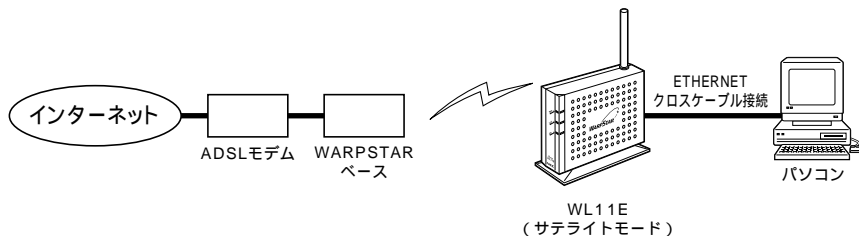
お知らせ

WARPSTAR ベースの電源は、あらかじめ入れておいてください。

2-2 通信する

設定が完了したら実際にインターネットに接続するなどしてWL11E（サテライトモード）に接続したパソコンから通信ができることを確認してください。

ここでは次のような構成でインターネットに接続する場合を例に説明します。



- 1 アクセスマネージャで接続する場合には、あらかじめアクセスマネージャで接続する
- 2 WWW ブラウザを起動する
- 3 外部のホームページを開く
例) ホームページ Aterm Station :
<http://121ware.com/aterm/>



お知らせ

サテライト用のパソコンが設定したパソコンと異なる場合は、使用するパソコンに使用するネットワーク体系にあわせた IP アドレス / ネットマスク / ゲートウェイ / DNS の設定を行ってください。

WEP / 128bitWEP について

WEP の設定

WL11E (サテライトモード) の設定は ETHERNET ボックスマネージャで行います。
(☞P2-11) (☞P2-24) 手順 13 を参照して設定してください。

ユーザが指定した任意の文字列 (暗号化キー) を WARPSTAR ベースまたは WL11E (アクセスポイントモード) とサテライト (WL11E (サテライトモード) など) に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、WARPSTAR ベースとサテライトとの間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

暗号化を行う場合

暗号化通信の利用可否表

親機	子機側			
	WL11CA	WL11E(サテライトモード)	WL11C	WL11U
WL11CA				
WL11C				
WL11E (アクセスポイントモード)				

同一無線ネットワークにおいて WEP と 128bitWEP の混在はできません。

の組み合わせの場合だけ 128bitWEP が使用できます。

の組み合わせでは WEP が利用できます。

128bitWEP は従来の 40bit 鍵の WEP を拡張して 104bit 鍵にした暗号化機能です。



お知らせ

WARPSTAR サテライトが 128bitWEP に対応していない WL11C のときは暗号化キーは 40bit の WEP でお使いください。

WARPSTAR ベースに装着するカードが WEP 対応の WL11C のときは暗号化キーは 40bit の WEP でお使いください。

対応する親機についてはホームページ「Aterm Station」にてご確認ください。



3

アクセスポイント（親機） モードで使う

- 3-1 設定を行う 3-2
- 3-2 WL11U / WL11CA / WL11C を
サテライトとして使用するには 3-19

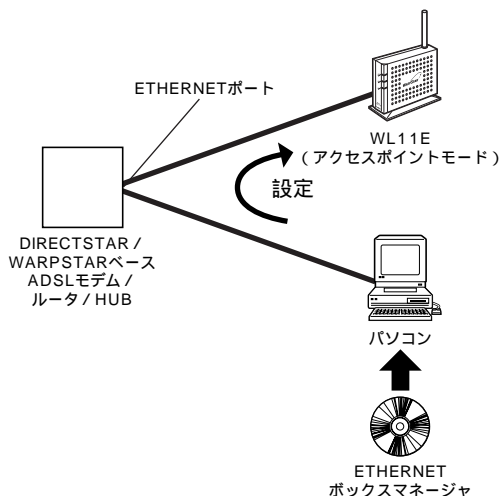
Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

3-1 設定を行う

WL11Eをアクセスポイントモードで使用する場合の設定方法には次の2種類があります。ご使用状態に合わせて設定方法を選択してください。

ADSL モデムやルータ、HUB を経由して設定する

ETHERNET ポートを2ポート以上装備したDIRECTSTAR、WARPSTARベースやADSLモデムなどに接続する場合はこの方法で設定します。



次の手順で設定を行います。実際の作業はそれぞれのページで行ってください。

ADSL モデムやルータ、HUB に接続する (☞P3-4)

ETHERNET ボックスマネージャをインストールする (☞P3-9)

ETHERNET ボックスマネージャで設定する (☞P3-11)

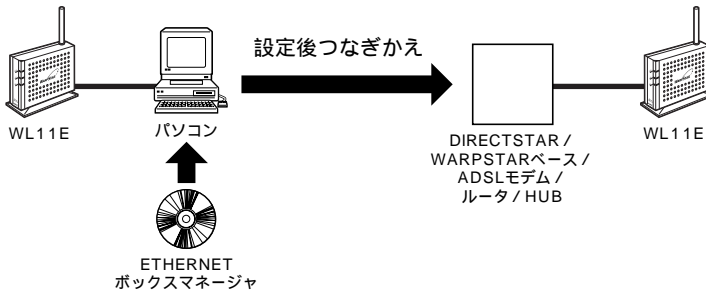


お知らせ

ADSL モデムやルータ、HUB を経由して WL11E を設定するには、接続する機器が DHCP サーバであるか、設定を行うパソコンが WL11E と同一のネットワークになっている (IP アドレスが 192.168.0.XXX になっている) 必要があります。

パソコンとWL11Eを直接接続して設定する

ETHERNETポートが1つしかないDIRECTSTAR、WARPSTARベースやADSLモデムなどに接続する場合はこの方法で設定します。パソコンに固定IPアドレスを設定する必要があります。設定完了後にWARPSTARベースやADSLモデムなどに接続します。



次の手順で設定を行います。実際の作業はそれぞれのページで行ってください。

- WL11Eにパソコンを直接接続する(☞P3-6)
- パソコンのIPアドレスを設定する(☞P3-7)
- ETHERNETボックスマネージャをインストールする(☞P3-9)
- ETHERNETボックスマネージャで設定する(☞P3-11)
- WL11EとWARPSTARベース/ADSLモデム/ルータ/HUBをつなぐ(☞P3-16)

お願い

設定完了後、電源を入れる際にはIPアドレスを正しく取得するため、WARPSTARベースやADSLモデム、ルータ、HUBの電源を入れてからWL11Eの電源を入れてください。



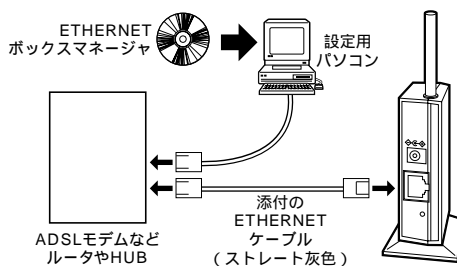
お知らせ

WL11Eの初期値はアクセスポイントモードになっています。暗号化設定などを行わない場合は、接続するだけで使用できますが、セキュリティの設定を行ってご使用になることをお勧めします。

ADSL モデムやルータ、HUB に接続する

ADSL モデムやルータ、HUB を経由して設定する場合に接続します。

- 1 設定を行うパソコンと ADSL モデムやルータ、HUB を ETHERNET ケーブルで接続する
あらかじめ ADSL モデムやルータ、HUB と通信ができることを確認してください。
- 2 ADSL モデムやルータ、HUB の電源が入っていることを確認する
- 3 WL11E と ADSL モデムやルータ、HUB の ETHERNET ポートを添付の ETHERNET ケーブル(ストレート灰色)で接続する

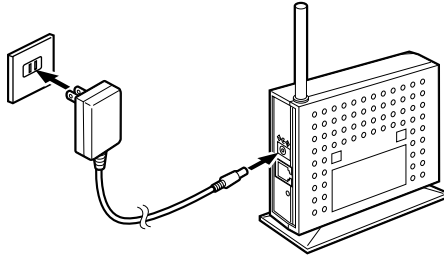


お知らせ

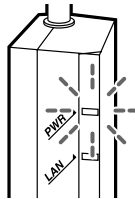
ETHERNET ケーブルにはストレートとクロスがあります。WARPSTAR に添付のケーブルは、灰色がストレート、黒色がクロスのケーブルです。

4 ACアダプタをWL11Eに取り付ける

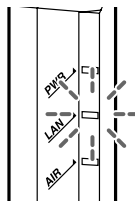
5 ACアダプタを電源コンセントに接続する



6 PWRランプが緑点灯することを確認する



7 WL11EのETHERNETポートとADSLモデムやルータ、HUBが正しく接続されていると、WL11Eの前面のLANランプが緑点灯する



P3-9「ETHERNETボックスマネージャをインストールする」に進みます。

3

アクセスポイント（親機）
モードで使う

WL11E にパソコンを直接接続する

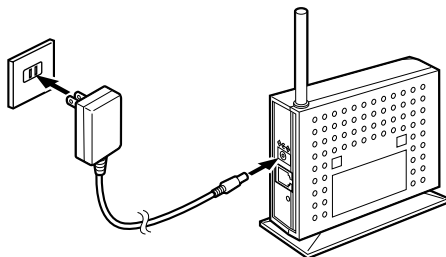
パソコンと WL11E を直接、接続して設定する場合に接続します。

- 1 WL11E とパソコンの ETHERNET ポートを添付の ETHERNET クロスケーブル（黒色）で接続する

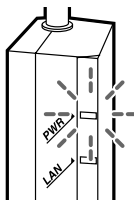


- 2 AC アダプタを WL11E に取り付ける

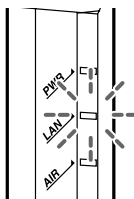
- 3 AC アダプタを電源コンセントに接続する



- 4 PWR ランプが緑点灯することを確認する



- 5 WL11E の ETHERNET ポートとパソコンが正しく接続されていると、WL11E の前面の LAN ランプが緑点灯する



パソコンのIPアドレスを設定する

WL11Eに接続したパソコンから直接WL11Eの設定を行うには、パソコンのIPアドレスの設定が必要です。

あらかじめパソコンとWL11Eが正しく接続されていることを確認してください。
(☞P3-6)



お知らせ

WL11Eの設定が終了した後は、パソコンのIPアドレスの設定を戻します。

Windows® Me/98/98SEの場合

[スタート] [設定] [コントロールパネル] を選択する。

ネットワークのアイコンをダブルクリックする。

リストの中のTCP/IPプロトコルのうちWL11Eが使用しているネットワークボード名を選択し、[プロパティ]をクリックする。

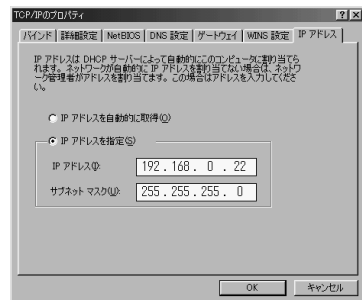
[IPアドレスを指定]をクリックして、IPアドレス、サブネットマスクに次のように入力する。

IPアドレス：

192.168.0.XXX (XXXは2～199、
201～254の数字で同一ネットワーク
内で使用しないIPアドレス)

サブネットマスク：

255.255.255.0



[OK]をクリックして、画面の指示に従ってWindows®を再起動する。

[IPアドレス]タブをクリックする。

3

モードで使う
アクセスポイント
(親機)

Windows® XP/2000 の場合

画面は Windows® 2000 の例です

[マイコンピュータ] [コントロールパネル] [ネットワークとダイヤルアップの接続] をクリックする。

WL11E を使用しているネットワークボード名の [ローカルエリア接続] を右クリックして、[プロパティ] をクリックする。

リストの中から [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、プロパティボタンを押す。

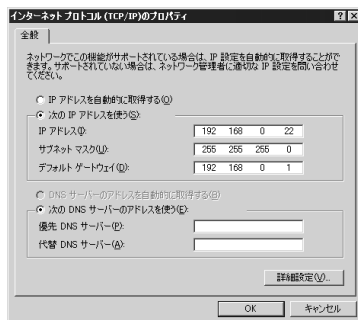


[次の IP アドレスを使う] をクリックして、IP アドレス、サブネットマスクに次のように入力する。

IP アドレス :

192.168.0.XXX (XXX は 2 ~ 199、201 ~ 254 の数字で同一ネットワーク内で使用していない IP アドレス)

サブネットマスク :
255.255.255.0



[OK] をクリックする。

ETHERNET ボックスマネージャをインストールする

WL11E の設定に必要なユーティリティ「ETHERNET ボックスマネージャ」をパソコンにインストールします

1 Windows® を起動する

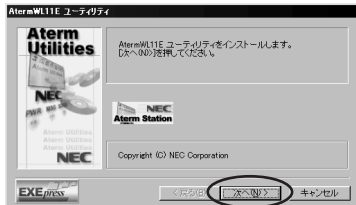
2 添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。メニューが表示されないときは(☞P3-10)

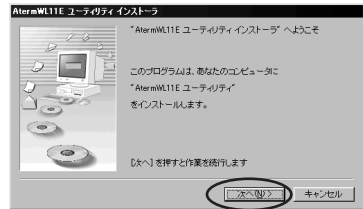
3 [ETHERNET ボックスマネージャのインストール] をクリックする



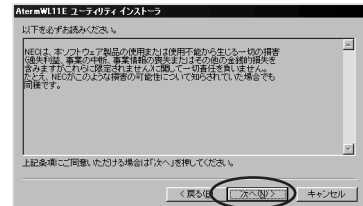
4 [次へ] をクリックする



5 [次へ] をクリックする

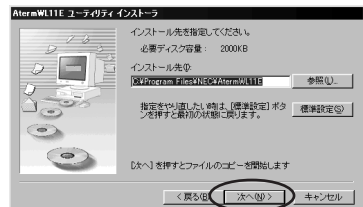


6 画面の同意書を読み、同意できる場合は[次へ]をクリックする



7 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ] をクリックする

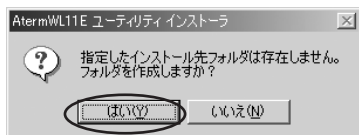
インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックして変更してください。



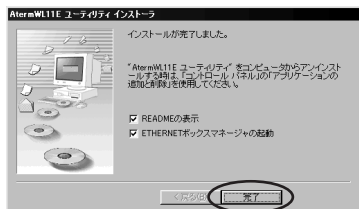
3
アクセスポイント(親機)
モードで使う

(次ページに続く)

- 8 この画面の表示がでたら[はい]をクリックする



- 9 [[完了]をクリックする



- 10 READMEをよく読んで、[README]画面を閉じる
インストールが完了し、ETHERNET
ボックスマネージャが起動します。

- 11 続けてETHERNETボックス
マネージャで設定を行う

? ETHERNET ボックスマネージャを起動するには

ETHERNET ボックスマネージャを終了させた後に、再度ETHERNET ボックスマネージャを起動するときは、[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム]—[Aterm WL11E ユーティリティ]—[ETHERNET ボックスマネージャ]をクリックします。

お知らせ

添付のCD-ROM をセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。

Windows[®]の[スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]を選択する

名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥Menu.exe と入力し、[OK] をクリックする
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q:¥Menu.exe)

ETHERNET ボックスマネージャで設定する

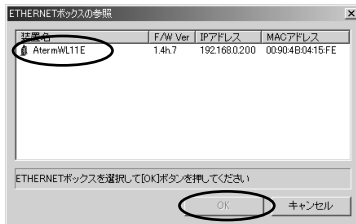
お願い

設定は、WL11Eの電源を入れてから30秒以上たってから行ってください。

1 ETHERNET ボックスマネージャを起動する

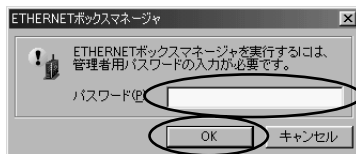
ETHERNET ボックスマネージャをインストールしたとき以外は[スタート] [プログラム] [Aterm WL11E ユーティリティ] [ETHERNET ボックスマネージャ]の順に選択します。

2 設定する ETHERNET ボックスを選択し、[OK]をクリックする



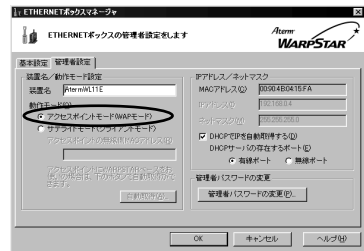
3 管理者パスワードを入力して、[OK]をクリックする

(初期値は「public」です。最初はpublicと入力します。管理者パスワードは、後で必ず変更してください 手順6)



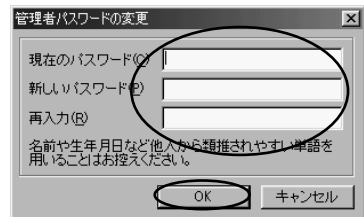
4 [管理者設定] タブをクリックする

5 [動作モード設定] 欄で [アクセスポイントモード] を選択する。



6 [管理者パスワードの変更] をクリックする

7 「現在のパスワード」欄に「public」と入力し、新しいパスワードを設定して [OK] をクリックする



・管理者パスワードの変更設定は、ETHERNET ボックスマネージャを [OK] で終了させると有効になります。

3 アクセスポイント（親機）モードで使う

(次ページに続く)



お知らせ

変更した管理者用パスワードは、WL11Eを設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード _____

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。

忘れた場合は、リセットスイッチでWL11Eを工場出荷状態に戻します。管理者パスワードが初期値（public）に戻りますので、設定を最初から行ってください。



「ETHERNET ボックスが見つかりません」と表示されたときには

「ETHERNET ボックスが見つかりません」という画面が表示されたときには、WL11Eが正しく接続されていることを確認してから、次の手順で、ETHERNET ボックスを参照してください。

「ETHERNET ボックスの参照」をクリックする

アクセスポイント名を選択して、「OK」をクリックする

「OK」をクリックする

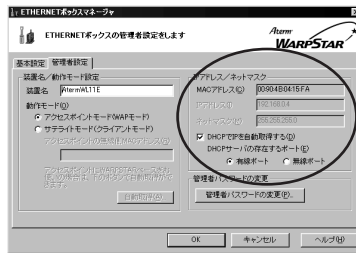
それでもみつからない場合は、トラブルシューティングを参照してください。

(← P4-4)

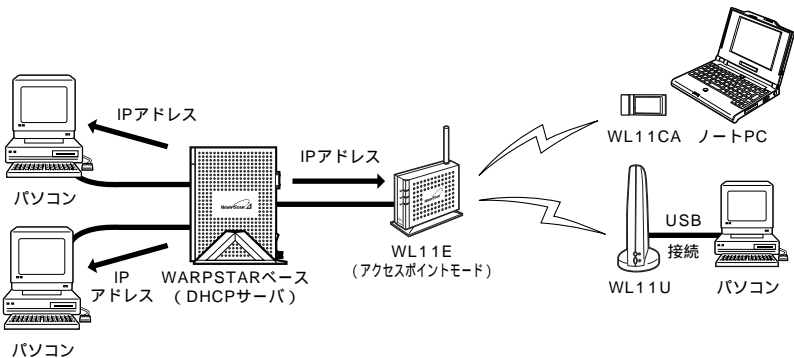
8

[IP アドレス / ネットマスク] 欄で IP アドレスを設定する

- ・ WL11E の IP アドレスを固定で使用する場合は、「DHCP で IP を自動取得する」のチェックをはずして、お使いのネットワーク接続にあわせて IP アドレス / ネットマスクを入力してください。
- ・ DHCP で WL11E の IP アドレスを自動取得する場合は、DHCP サーバの存在するポートを選択します。
- ・ アクセスポイントモードで使用する場合は、通常は有線ポートになりますが、お使いの環境によって異なりますので、お使いのネットワーク構成にあわせて設定してください。



ネットワーク構成例

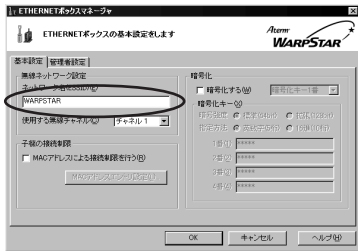


3

アクセスポイント
モードで使う
(親機)

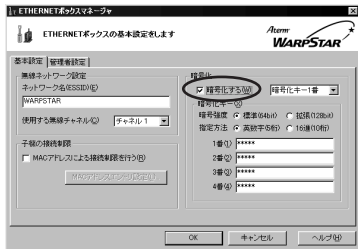
9 [基本設定] タブをクリックする

10 [ネットワーク名] を入力する
ネットワーク名は、無線ネットワーク内で使用するネットワーク名(任意の名前)を入力してください。



11 暗号化の設定を行う

- 無線ネットワーク内で暗号化の設定を行うときは、[暗号化する] にチェックして、[暗号化] 欄で設定を行ってください。
- 無線ネットワーク内で暗号化によるセキュリティを行わない場合はチェックをはずしておいてください。暗号化の詳細については (P3-18) を参照してください。



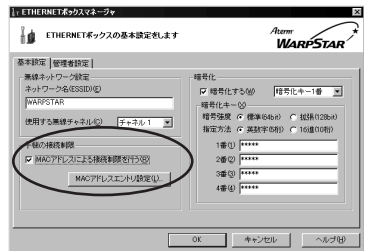
お知らせ

無線ネットワーク名、暗号化キーは、無線ネットワークを利用する際必要になりますので、控えておいてください。

アクセスポイントの WL11E に設定したネットワーク名はサテライト(子機)と同じネットワーク名を入力する必要があります。

12 子機の接続制限の設定を行う

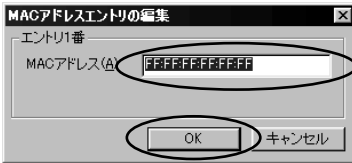
MAC アドレスによるセキュリティの設定を行う場合には、[MAC アドレスによる接続制限を行う] にチェックし、[MAC アドレスエントリ設定] ボタンをクリックする



エントリを選択して、[エントリ編集] をクリックする



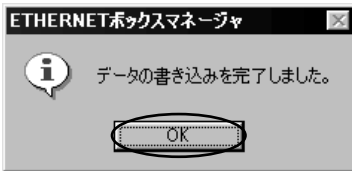
接続を許可するサテライト（子機）の MAC アドレスを入力し、[OK] をクリックする
MAC アドレスは英数字を 2 桁ずつ区切って間に：（コロン）を入れてください。



[OK] をクリックする

13 設定がすべて完了したら [OK] をクリックする

14 データの書き込みが完了したのを確認して [OK] をクリックする



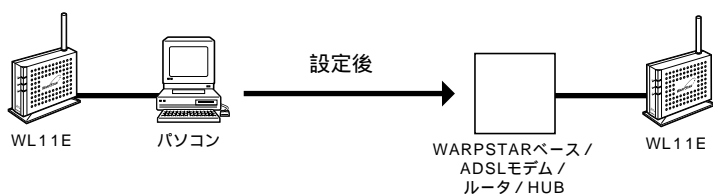
15 パソコンの IP アドレスの設定を戻す（別々に設定した場合のみ）

- ・ P3-7 で設定したパソコンの IP アドレスの設定を元にもどします。（「IP アドレスを自動的に取得」を選択します。）
- ・ DHCP を使用しない場合には、使用するネットワーク体系にあわせて IP アドレス / ネットマスク / ゲートウェイ / DNS の設定を行ってください。

3

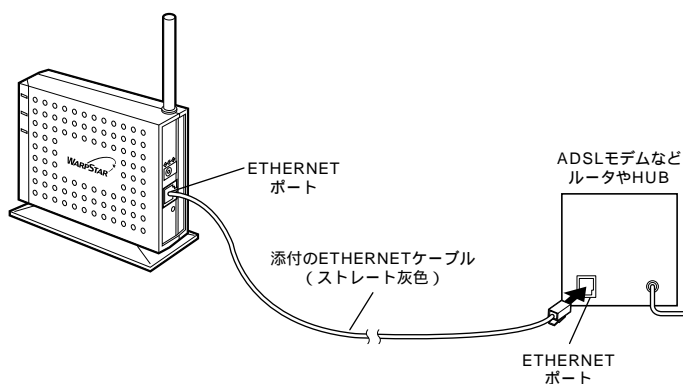
アクセスポイント（親機）
モードで使う

WL11EとWARPSTARベース / ADSL モデム / ルータ / HUBをつなぐ

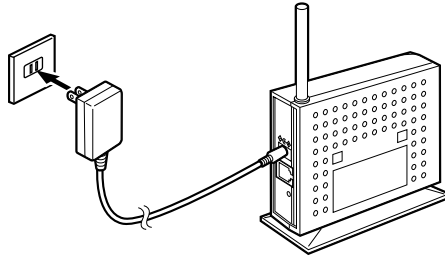


パソコンとWL11Eを直接接続して設定を行った場合は、設定完了後、次の手順でつなぎかえます。

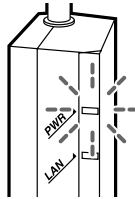
- 1 WL11EのACアダプタを電源コンセントから抜く
- 2 WL11Eとパソコンを接続しているケーブルをはずす
- 3 WARPSTARベース / ADSL モデム / ルータ / HUBの電源が入っていることを確認する
- 4 WL11EとWARPSTARベース / ADSL モデム / ルータ / HUBのETHERNETポートを添付のETHERNETケーブル(ストレート灰色)で接続する



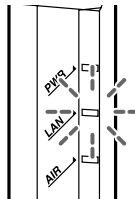
5 WL11EのACアダプタを電源コンセントに接続する



6 WL11EのPWRランプが緑点灯することを確認する



7 WL11EのETHERNETポートとWARPSTARベース/ADSLモデム/ルータ/HUBと正しく接続されていると、WL11Eの前面のLANランプが緑点灯します



8 WL11EのAIRランプが緑点灯することを確認します

3
アクセスポイント（親機）
モードで使う



お知らせ

ADSL モデムなどルータやHUBの電源は、あらかじめ入れておいてください。

WEP / 128bitWEP について

ユーザが指定した任意の文字列（暗号化キー）を WARPSTAR ベースまたは WL11E（アクセスポイントモード）とサテライト（WL11E（サテライト）など）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、WARPSTAR ベースとサテライトとの間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

暗号化を行う場合

暗号化通信の利用可否表

親機	子機側			
	WL11CA	WL11E(サテライトモード)	WL11C	WL11U
WL11CA を装着した WARPSTAR ベース				
WL11C を装着した WARPSTAR ベース				
WL11E（アクセスポイントモード）				

同一無線ネットワークにおいて WEP と 128bitWEP の混在はできません。

の組み合わせの場合だけ 128bitWEP が使用できます。

の組み合わせでは WEP が利用できます。

128bitWEP は従来の 40bit 鍵の WEP を拡張して 104bit 鍵にした暗号化機能です。



お知らせ

WARPSTAR サテライトが 128bitWEP に対応していない WL11C のときに暗号化を行う場合は、暗号化キーは 40bit 鍵の WEP でお使いください。

WARPSTAR ベースに装着するカードが WEP 対応の WL11C のときに暗号化を行う場合は、通常の WEP でお使いください。

WARPSTAR に 128bitWEP 対応のカードを装着した場合、機種によってはファームウェアのバージョンアップが必要です。

対応する親機についてはホームページ「Aterm Station」にてご確認ください。

ネットワーク名 (ESSID)

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名 (ESSID と呼びます) を設定します。このネットワーク名が一致しないと無線通信ができません。WL11E でネットワーク名 (ESSID) を設定するには、ETHERNET ボックスマネージャで設定します。(☛P3-14 手順 10 を参照して設定してください。)

WL11U/WL11CA/WL11Cを サテライトとして使用するには

WL11E（アクセスポイントモード）ではWL11U/WL11CA/WL11C/WL11E（サテライトモード）をサテライトとして使用することができます。

ここではWL11U/WL11CA/WL11Cをサテライトとして使用するための手順を説明します。WL11Eをサテライトとして使用する場合には、「2.サテライト（子機）モードで使う」を参照して設定を行ってください。

まだパソコンに接続しないでください。

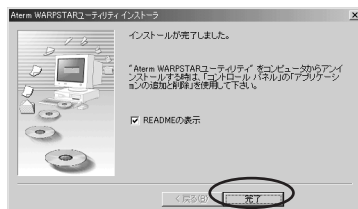
設定に使用するユーティリティ

ここではWL11Eに添付のCD-ROM（ユーティリティ集）に収録されているユーティリティ「らくらくアシスタント」を利用して設定を行う場合を説明します。

らくらくアシスタントをインストールする

- 1 Windows® を起動する
- 2 WL11E に添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブにセットする
WARPSTAR の CD-ROM が複数ある場合は、バージョンの新しい CD-ROM を使用します。
- 3 [WARPSTAR らくらくアシスタントのインストール] をクリックする
- 4 [次へ] をクリックする
- 5 [次へ] をクリックする
- 6 画面の同意書を読み、同意できる場合は [次へ] をクリックする
- 7 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ] をクリックする
インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックして変更してください。
- 8 [はい] をクリックする
インストールが開始します。

- 9 [README の表示] にチェックが入っていることを確認し、[完了] をクリックする



- 10 README をよく読んで、[README] 画面を閉じる
インストールが完了し、WARPSTAR らくらくアシスタントが起動します。
- 11 続けて WARPSTAR らくらくアシスタントで設定を行う



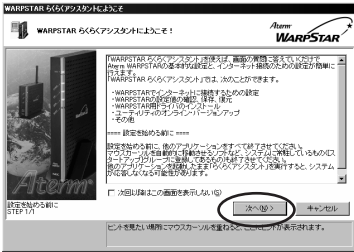
お知らせ

Windows® XP をご使用の場合、WARPSTAR らくらくアシスタントでドライバをインストールできないパソコンがあります。詳しくは、Aterm Station「サポートデスク」-「技術情報」-「サポート技術情報」の (WARPSTAR) と Windows® XP 関係項目をご覧ください。

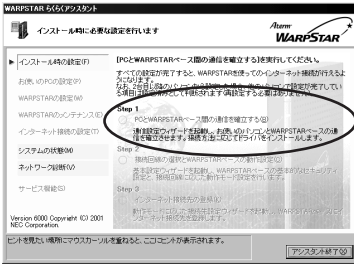
WARPSTARらくらくアシスタントで設定をする(サテライト)

1 WARPSTARらくらくアシスタントを起動する

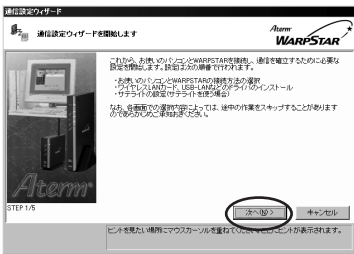
2 [次へ]をクリックする



3 [インストール時の設定]の Step1「PCとWARPSTARベース間の通信を確立する」をクリックする

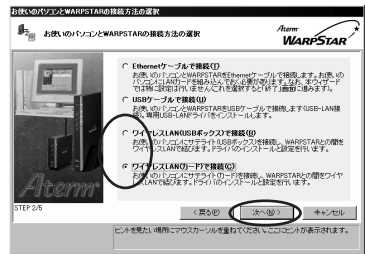


4 [次へ]をクリックする

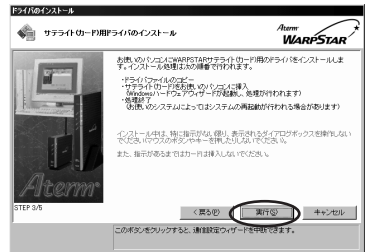


5 [ワイヤレスLAN(USBボックス)で接続]または[ワイヤレスLAN(カード)で接続]のどちらかをチェックして、[次へ]をクリックする

WL11Uをご利用の場合は[ワイヤレスLAN(USBボックス)で接続]、WL11CAをご利用の場合は[ワイヤレスLAN(カード)で接続]をクリックしてください。



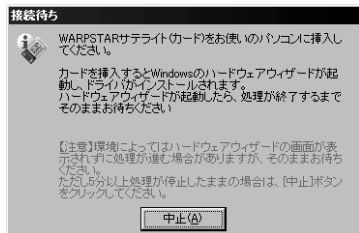
6 [実行]をクリックする



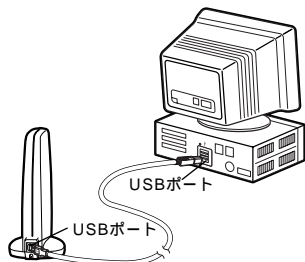
3 アクセスポイント(親機)モードで使う

(次ページに続く)

7 次の画面が表示されたら、WARPSTAR サテライトをパソコンに接続 (WL11U) または取り付け (WL11CA) する画面は WL11CA の場合です。

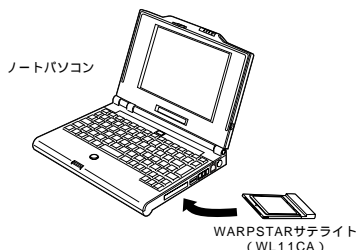


WL11U を接続する
WL11U の USB ポートとパソコンの USB ポートを添付の USB ケーブルで接続する
コネクタには向きがあります。コネクタの向きに注意して奥まで差しこんでください。



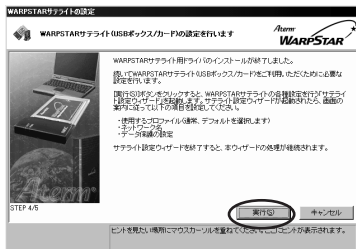
WARPSTAR サテライト (WL11U)

WL11CA を取り付ける
パソコンのカードスロットに WL11CA を取り付けます。コネクタの向きに注意して、奥まで差しこんでください。



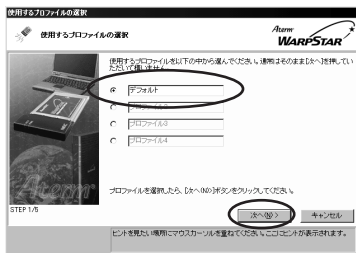
ドライバが自動的にインストールされます。

8 [実行] をクリックする

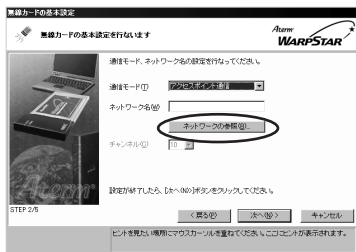


WARPSTAR ベースを検索します。
(ネットワークの参照といいます。)

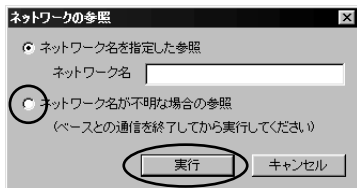
9 使用するプロファイルを選択して、[次へ] をクリックする
通常はそのまま [次へ] をクリックします。



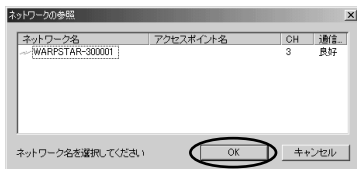
10 WARPSTAR ベースの電源を入れたあと [ネットワークの参照] をクリックする



- 11 次の画面が表示されたときは [ネットワーク名が不明な場合の参照] を選択し、[実行] をクリックする

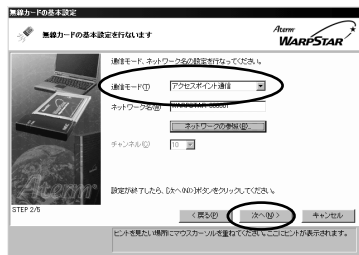


- 12 アクセスポイントとして使用するWL11Eのネットワーク名をクリックして[OK]をクリックする

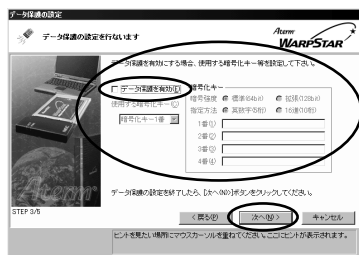


「ネットワークが見つかりません。」と表示された場合は [OK] をクリックして手順 10 の画面で [ネットワークの参照] をクリックしてください。それでもみつからない場合は、[ネットワーク名] の欄に直接ネットワーク名を入力してください。

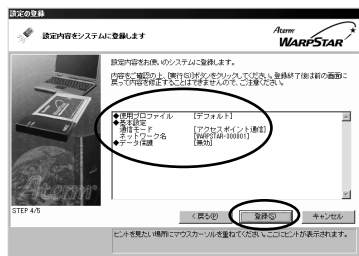
- 13 [次へ] をクリックする
[通信モード] は [アクセスポイント通信] の設定のままにしてください。



- 14 データ保護の設定を行い、[次へ] をクリックする
WARPSTAR ベースにデータ保護の設定を行わない場合はデータ保護の設定はしないで次に進みます。



- 15 設定内容を確認し、[登録] をクリックする
設定内容をお使いのシステムに登録します。



3
アクセスポイント（親機）
モードで使う

(次ページに続く)

16 [設定終了]をクリックする



17 [設定終了]をクリックする



18 [アシスタント終了]をクリックする

らくらくアシスタントを終了します。



お知らせ

それぞれのサテライトに添付のユーティリティ（サテライトマネージャ）でも設定を行うことができます。その場合は、サテライトマネージャでWL11E（アクセスポイントモード）で使用しているネットワーク名（ESSID）を直接入力してください。
WL11E（アクセスポイントモード）で128bitWEPを利用する場合には、128bitWEPに対応したユーティリティを使用する必要があります。

WL11Eとの通信状態を確認する(サテライトマネージャ)

サテライトマネージャを起動すると、WL11E(アクセスポイントモード)とWARPSTARサテライトの通信状態を確認することができます。

1 タスクトレイのサテライトマネージャのアイコンを右クリックする



2 [状態] をクリックする
WL11EとWARPSTARサテライトの通信状態が表示されます。

WL11U / WL11CA が正しく接続されていません。

WL11E がみつかりません。

WL11E が正しく検出できていません。

3 通信状態を確認したら、[閉じる] をクリックする



無線の通信状態が「良好」となることを確認してください。「良好」と表示されないときは、「良好」と表示される位置までパソコンを移動してください。



お知らせ

WL11Eがアクセスポイントの場合、アクセスポイント名は表示されません。

3 アクセスポイント(親機)モードで使う

インターネット接続を確認する

WL11E(アクセスポイントモード)に接続したADSLモデムなどルータやHUBの取扱説明書を参照して、インターネットなどに接続できることを確認してください。

WL11E(アクセスポイントモード)にWARPSTARベースを接続している場合には、WARPSTARベースに添付のユーティリティアクセスマネージャを使って接続することができます。WARPSTARベース以外を接続している場合には、アクセスマネージャを使って接続することはできません。



4

お困りのときは

- 4-1 トラブルシューティング4-2
- 4-2 WL11Eを工場出荷状態にもどす4-5

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

4-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、WL11Eを初期化し(☞P4-5)初めから設定し直してみてください。初期化を行うとWL11Eのすべての設定が工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

本書の他に、添付CD-ROM収録の電子マニュアル「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。(☞P2)

設置に関するトラブル

症 状		原因と対策
電源を入れたとき	PWRランプが点灯しない	電源が入っていません。 電源コードがはずれている 電源コードを電源コンセントに差し込んでください。 電源コードがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れるとWL11Eに供給されている電源も切れてしまいます。 電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源コードをコンセントからはずしてお買い上げいただいた販売店やNEC保守サービス受付拠点にご相談ください。
添付のCD-ROMをパソコンにセットしたとき	メニュー画面を表示したくない	CD-ROMをセットすると、メインメニュー画面が表示されるように設定されています。 表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。 不要な場合はメニューの[終了]をクリックします。 Windows® Me/98/XP/2000の場合、Shiftキーを押しながらCD-ROMをセットします。 Windows® Me/98の場合、CD-ROMを入れたときに最初の画面が表示されないようにできます(ただし、WARPSTARだけでなく、ほかのCD-ROMでも表示されなくなります)。 1) [コントロールパネル]の[システム]をダブルクリックする 2) [デバイスマネージャ]タブの[CD-ROM]をダブルクリックする 3) 使用するCD-ROMドライブをクリックし、[プロパティ]をクリックする 4) [設定]タブをクリックする 5) [オプション]の[自動挿入]または[挿入の自動通知]のチェックをはずす 6) [OK]をクリックし、Windows® Me/98を再起動する

	症 状	原因と対策
Aterm が正常に動作しないが、原因がわからない	設定に誤りがある	<p>設定に誤りがある場合があります。 ETHERNET ボックスマネージャを起動して WL11E の設定を確認してください。 (←P2-8、P3-11) どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。</p>
LAN ランプが点灯しない	ご利用の ETHERNET ケーブルのストレート/クロスが違っている可能性がある	<p>ETHERNET ケーブルにはストレートケーブル(灰色)とクロスケーブル(黒)の2種類が存在します。サテライトモードのときはパソコン-WL11E 間はクロスケーブル(黒)を利用し、アクセスポイントモードのときは、WARPSTAR ベースなどと WL11E の間はストレートケーブル(灰色)を利用します。 ただし、ご利用のルータ等、環境によって異なる場合があります。</p>
AIR ランプが点灯しない	設定に誤りがある	<p>設定に誤りがある場合があります。 ETHERNET ボックスマネージャを起動して WL11E の設定を確認してください。 (←P2-8、P3-11) どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。</p>
	WARPSTAR ベースと WL11E との間の無線状態が悪い。	WARPSTAR ベースと WL11E を近づけてみてください。

通信に関するトラブル

症 状	原因と対策
サテライトモードで通信できない	<p>いったん、WL11EのACアダプタを電源コンセントから抜き、接続されているパソコンを、終了させて、WL11Eに接続されているパソコンの順に電源を入れ直してください。</p> <p>AIRランプを確認して電波状態の良いところから通信を行ってください。(☞P1-6)</p> <p>ご使用の無線のネットワーク内で使用できるサテライトは10台までです。10台までとなるようにご使用ください。</p> <p>WARPSTARベース(親機)に登録しているWL11EのMACアドレスが正しいか(☞P2-14)WL11Eに登録しているMACアドレスが正しいか(☞P2-22)確認してください。</p> <p>無線のネットワーク名(ESSID)が間違っている、WARPSTARベースなどの親機とWL11E(サテライトモード)のネットワーク名が同じか確認してください。</p> <p>暗号化(WEP)の設定が一致していない。WARPSTARベース(親機)とWL11E(サテライトモード)は暗号化のWEPキーと暗号化強度が一致しないと通信できません。WEPの暗号化キーを確認してください。初期化すると暗号化が解除されます。</p> <p>サテライトモードの設定が正しく行われているか確認してください(☞P2-21)</p>
アクセスポイントモードで使用できない	<p>アクセスポイントモードの設定が正しく行われているか確認してください(☞P3-11)</p>

ETHERNET ボックスマネージャに関するトラブル

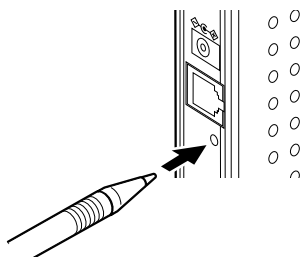
症 状	原因と対策
ETHERNET ボックスマネージャが起動しない	<p>ETHERNET ケーブルが正しくありません 前面のLANランプの点灯で確認できます。ケーブルを確認してください。</p> <p>電源を入れたり、初期化した直後は見つかりません 電源を入れてから30秒たってから参照してください</p> <p>設定に誤りがある場合があります WL11Eを工場出荷時の設定に戻して(☞P4-5)ETHERNETボックスの参照を行ってください</p> <p>管理者パスワードが正しくありません 管理者パスワードをなくした場合はWL11Eを工場出荷時の設定に戻して管理者パスワードを設定しなおしてください(☞P2-10)</p> <p>接続したパソコンのEthernetアダプタが使用できない状態になっています。使用できる状態にしてください。</p>

4-2 WL11E を工場出荷状態にもどす

WL11E に設定した内容を消去して購入時の状態に戻します。WL11E がうまく動作しない場合や今までとは異なった使い方をする場合は、WL11E を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

スイッチで初期化する

- 1 WL11E の電源が入っていることを確認する
- 2 WL11E の背面にあるリセットスイッチをボールペンの先などで 10 秒間押し続ける



WL11E の前面の AIR ランプが緑点滅すると初期化が完了です。

- 3 リセットスイッチをはなす



お知らせ

アクセスポイントモードで MAC アドレスのフィルタリングを登録している場合、登録は初期化される内容と別々に管理されていますので、初期化後、再度確認してください。

WL11E の初期値

WL11E の工場出荷時の初期値は次のようになっています。

装置名		AtermWL11E
IP アドレス		192.168.0.200
ネットマスク		255.255.255.0
DHCP での IP 自動取得		自動取得する
DHCP サーバの存在するポート		有線ポート
使用する暗号化キー		無し
WEP による暗号化		行わない
暗号化キー	キー 1 キー 2 キー 3 キー 4	未設定
アクセスポイント名 ネットワーク名 (ESSID) 使用する無線チャンネル		AtermWL11E WARPSTAR チャンネル 3
動作モード		アクセスポイントモード
MAC アドレスによる接続制限		行わない
接続を許可する MAC アドレス		無し
管理者パスワード		public

ただし、20 秒間取得できないときは、「192.168.0.200」を使用します。



5

付録

5-1	WL11E 製品仕様	5-2
5-2	お問い合わせ・アフターサービス	5-3

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP operating system の略です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

5-1 WL 11E 製品仕様

仕様一覧

項目		諸元	備考
端末インタフェース		10BASE-T x 1ポート	IEEE802.3準拠
無線 LAN インタフェース	規格	IEEE802.11b RCR STD-33、ARIB STD-T66	無線 LAN 標準 プロトコル 小電力データ通 信システム規格
	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2400 ~ 2497MHz) / ch1 ~ ch14	
	伝送方式	DS-SS 方式 (スペクトラム直接拡散方式)	
	伝送速度	11.0/5.5/2.0/1.0Mbps	自動フォール バック
	伝送距離	オープン (参考値) : 160m(11Mbps) ~ 300m(1Mbps) セミオープン (屋外) : 50m(11Mbps) ~ 100m(1Mbps) クローズド (屋内) : 25m(11Mbps) ~ 50m(1Mbps)	環境により変 動
	セキュリティ	ESSID、WEP (128ビット/64ビット) Mac アドレスフィルタリング	Mac アドレス フィルタリン グはアクセ ス ポイントモ ードのみ
ヒューマンインタフェース		状態表示 LED x 3	
ETHERNET ボックスマネージャ 利用可能 OS		Windows® Millennium Edition 日本語版 Windows® 98 日本語版 Windows® 98 Second Edition 日本語版 Windows® XP 日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版	
利用可能機器		ETHERNET ポートを装備する機器	
電源		DC5V x 0.5A	AC アダプタ 使用
消費電力		約 2.5W (最大)	
外形寸法		約 25 (W) x 80 (H) x 106 (D) mm	突起物を除く
質量		約 0.13kg	
動作環境		温度 0 ~ 40 湿度 10 ~ 90 %	結露しないこと

表示の速度は規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

5-2 お問い合わせ・アフターサービス

ご注意 オペレーションサービス

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠️ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ホームページ「Aterm Station」


ご注意 み修理先一覧

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠️ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠️ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

安心の保守サービス体制

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

サテライト(子機モード)の設定ガイドは裏面にあります。

アクセスポイント(親機)モード

ADSLモデムやルータ、HUBに接続する場合

ADSLモデムやルータ、HUBを経由して設定する場合に接続します。

1 設定のための接続をする

1 ETHERNETボックスマネージャ

添付のETHERNETケーブル(ストレート灰色)

WL11Eを設定した後はパソコンを取りはずすことができます。

2 電源コンセントに接続する

3 PWRランプとLANランプが緑点灯することを確認する

2 ETHERNETボックスユーティリティをインストールして、基本的な設定をする

インストール

1 設定用パソコンに添付CD-ROM(ユーティリティ集)をセットする

2 「ETHERNETボックスユーティリティのインストール」をクリックする

3 [次へ]をクリックする

4 [次へ]をクリックする

8 [完了]をクリックする

7 この画面が表示されたら「はい」をクリックする

6 [次へ]をクリックする

5 画面の同意書を読み、同意できる場合は「次へ」をクリックする

9 READMEを読みファイルを閉じる

設定

10 [AtermWL11E]を選び[OK]をクリックする

11 管理者パスワードを入力して、[OK]をクリックする
初期値は「public」です。最初はpublicと入力します。管理者パスワードは、後で必ず変更してください
手順13

12 [管理者設定]タブを開き、アクセスポイントモードになっていることを確認する

16 [基本設定]タブを開き、ネットワーク名に任意の名前を入力する

15 「DHCPで自動IPを取得する」「有線ポート」にチェックが入っていることを確認する

14 「現在のパスワード」欄に「public」と入力し、新しいパスワードを設定して[OK]をクリックする

13 [管理者パスワードの変更]をクリックする

17 暗号化したい場合は「暗号化する」をチェックして[OK]をクリックする

18 [OK]をクリックする

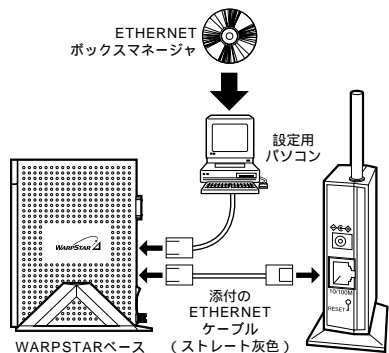
完了

毎回パスワードの設定を行う必要はありません。

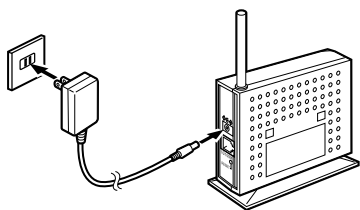
衛星(子機)モード WARPSTARベースとWL11E(衛星モード)を同時に設定する場合

あらかじめWARPSTARベースの設定を済ませておいてください。また、無線カード(WL11CA)は取り付けておいてください。WARPSTARベースとWL11Eを同時に設定する場合は次のように接続します。(WARPSTARベースとWL11Eを別々に設定する場合は、取扱説明書3-3ページを参照してください。)

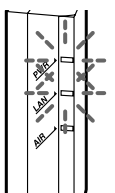
1 設定のための接続をする



電源コンセントに接続する



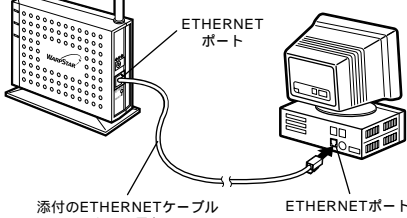
PWRランプとLANランプが緑点灯することを確認する



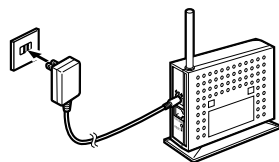
3 使えるように接続する (WL11Eのみ)

(WARPSTARベースは、電源に接続したままにしてください)

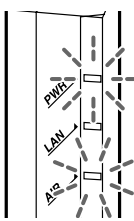
- ① 電源コンセントを抜く
- ② ETHERNETケーブルをすべてはずす
- ③ 衛星用パソコンなどと接続する



④ 電源コンセントに接続する



⑤ PWRランプとAIRランプが緑点灯することを確認する



完了

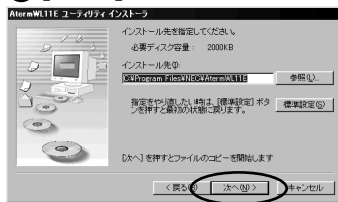
2 ETHERNETボックスユーティリティをインストールして、基本的な設定をする

インストール

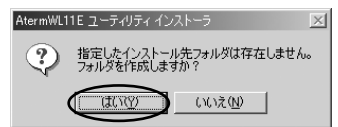
- ① 設定用パソコンに添付CD-ROM(ユーティリティ集)をセットする



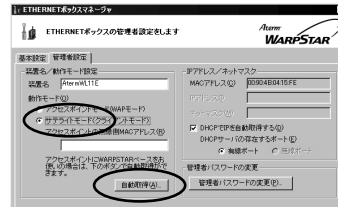
- ⑥ [次へ]をクリックする



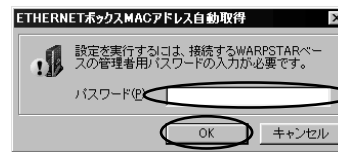
- ⑦ この画面が表示されたら [はい]をクリックする



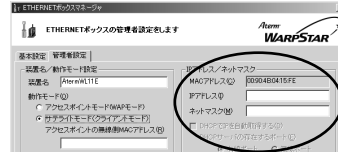
- ⑫ [管理者設定]タブを開き、衛星モードを選択する [自動取得]をクリックする



- ⑬ WARPSTARベースの管理者パスワードを入れて、[OK]をクリックする

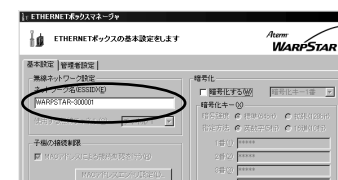


- ⑬ IPアドレス/ネットマスクを入力する



ご使用のネットワーク体系に合わせて入力してください。
(例)初期値は次の通りです。
IPアドレス:192.168.0.200
ネットマスク:255.255.255.0
2台以上お使いの場合はIPアドレスが重ならないようにしてください。
(例)2台目
IPアドレス:192.168.0.201
ネットマスク:255.255.255.0

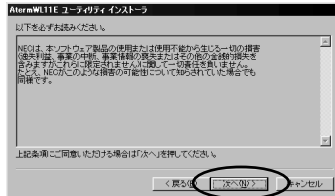
- ⑬ [基本設定]タブを開き、ネットワーク名(WARPSTARベースに登録してあるもの)が入っていることを確認し、[OK]をクリックする



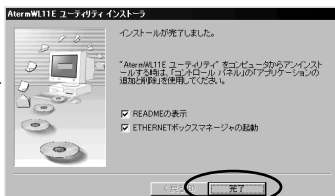
- ② 「ETHERNETボックスユーティリティのインストール」をクリックする



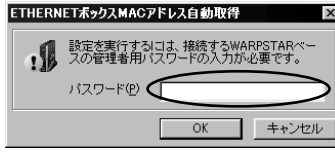
- ⑤ 画面の同意書を読み、同意できる場合は[次へ]をクリックする



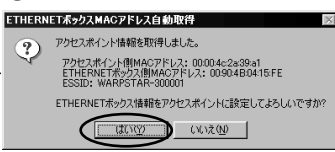
- ⑧ [完了]をクリックする



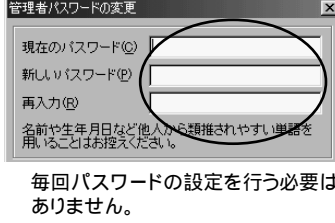
- ⑪ 管理者パスワードを入力する 初期値は「public」です。最初は「public」と入力してください。管理者パスワードは、後で変更してください 手順16



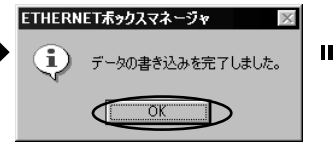
- ⑭ [はい]をクリックする



- ⑮ 「現在のパスワード」欄に「public」と入力し、新しいパスワードを設定して[OK]をクリックする



- ⑯ [OK]をクリックする



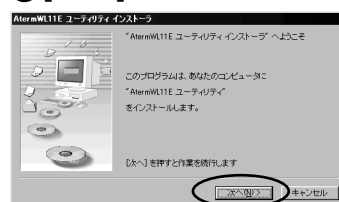
ベースで暗号化している場合
暗号化の設定をして[OK]をクリックする



- ③ [次へ]をクリックする



- ④ [次へ]をクリックする

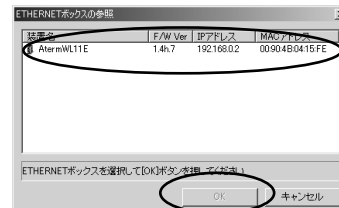


- ⑨ READMEを読みファイルを閉じる

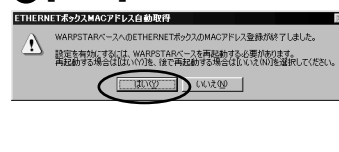


設定

- ⑩ [AtermWL11E]を選び [OK]をクリックする

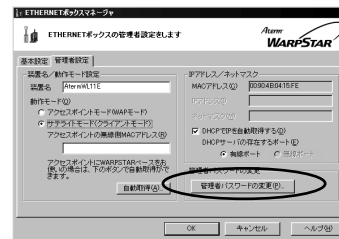


- ⑮ [はい]をクリックする

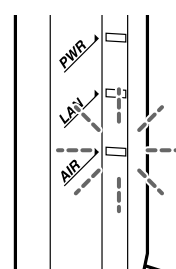


管理者パスワードの変更

- ⑮ [管理者パスワードの変更]をクリックする



- ⑰ WL11Eの前面のAIRランプが緑点灯することを確認する



これで設定は完了です。

アクセスポイント(無線親機)の設定は、取扱説明書3-2から参照してください。